

7 区 政

-
- (1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み
 - (1 - 1) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み
 - (2) 区の取り組みについての評価・印象
 - (3) 区政に対する満足度
 - (3 - 1) 不満だと思ふ理由
 - (4) 区に対する気持ち
 - (5) 区政についてのご意見、ご要望 (自由回答)
 - (6) アンケートの有効性
-

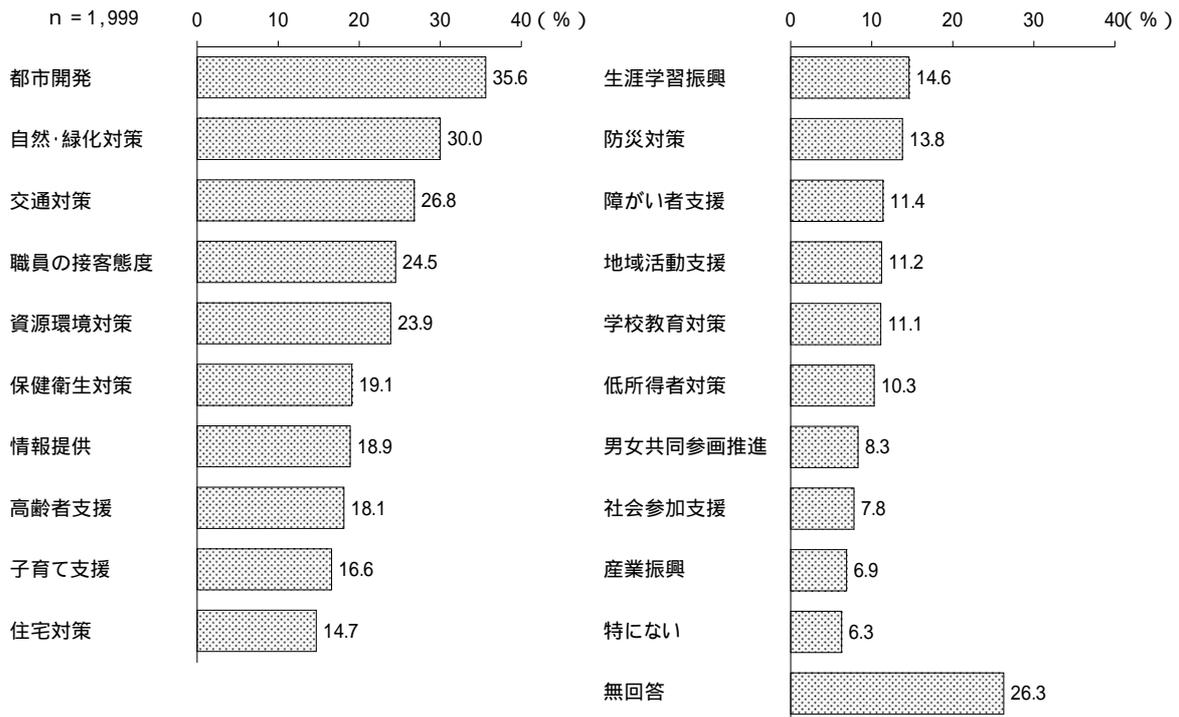
7 区 政

(1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

「都市開発」が3割半ばで最も高い

問31(1) あなたが以前と比べてよくなったと思う区の取り組みを、下の表からお選びください。(はあてはまるものすべて)

図7-1-1 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
都 市 開 発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	生 涯 学 習 振 興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
自 然 ・ 緑 化 対 策	公園や緑地、河川の整備など	防 災 対 策	防災活動の充実、都市の不燃化など
交 通 対 策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	障 が い 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	地 域 活 動 支 援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
資 源 環 境 対 策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	学 校 教 育 対 策	教育内容の充実、施設の改修など
保 健 衛 生 対 策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	低 所 得 者 対 策	生活の援助や自立支援など
情 報 提 供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	男 女 共 同 参 画 推 進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
高 齢 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	社 会 参 加 支 援	NPOやボランティアの育成や支援など
子 育 て 支 援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	産 業 振 興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
住 宅 対 策	良質な住宅の供給支援など		

以前と比べてよくなったと思う区の取り組みを聞いたところ、「都市開発」(35.6%)が3割半ばで最も高く、次いで「自然・緑化対策」(30.0%)、「交通対策」(26.8%)、「職員の接客態度」(24.5%)、「資源環境対策」(23.9%)の順となっている。(図7-1-1)

地域ブロック別でみると、「都市開発」は13ブロック中9ブロックで第1位を占めている。また、残りの4ブロックでは「自然・緑化対策」が第1位となっている。(表7-1-2)

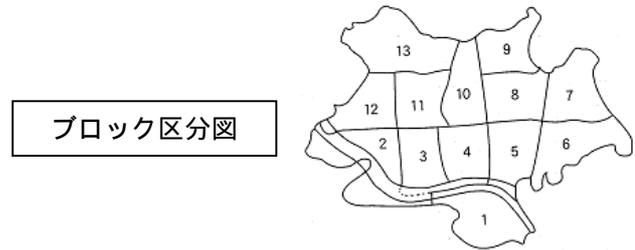


表7-1-2 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み - 地域ブロック別 (上位5位)

		(%)				
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,999	都 市 開 発 (35.6)	自 然・緑化対策 (30.0)	交 通 対 策 (26.8)	職員の接客態度 (24.5)	資 源 環 境 対 策 (23.9)
第1ブロック	245	都 市 開 発 (38.4)	交 通 対 策 (30.2)	職員の接客態度 (29.4)	自 然・緑化対策 (25.7)	保 健 衛 生 対 策 (24.9)
第2ブロック	139	自 然・緑化対策 (43.9)	都 市 開 発 (41.0)	交 通 対 策 (31.7)	資 源 環 境 対 策 (23.7)	住 宅 対 策 (23.0)
第3ブロック	113	都 市 開 発 (42.5)	交 通 対 策 (32.7)	自 然・緑化対策 (30.1)	資 源 環 境 対 策 (28.3)	職員の接客態度 (27.4)
第4ブロック	165	都 市 開 発 (46.1)	自 然・緑化対策 (29.7)	職員の接客態度 (24.2)	交 通 対 策 (23.0)	子 育 て 支 援 (18.8)
第5ブロック	185	自 然・緑化対策 (35.1)	都 市 開 発 (31.9)	職員の接客態度 (30.8)	交 通 対 策 (26.5)	情 報 提 供 (23.8)
第6ブロック	229	自 然・緑化対策 (27.9)	都 市 開 発 (26.2)	交 通 対 策 (24.5)	職員の接客態度/資源環境対策 (21.4)	
第7ブロック	163	都 市 開 発 (34.4)	自 然・緑化対策 (28.2)	職員の接客態度 (25.2)	資 源 環 境 対 策 (24.5)	交 通 対 策 (23.3)
第8ブロック	128	都 市 開 発 (35.2)	資 源 環 境 対 策 (32.0)	交 通 対 策 (30.5)	自 然・緑化対策 (28.1)	職員の接客態度 (27.3)
第9ブロック	87	都 市 開 発 (40.2)	自 然・緑化対策 (37.9)	交 通 対 策 (29.9)	資 源 環 境 対 策 (26.4)	職員の接客態度 (23.0)
第10ブロック	170	都 市 開 発 (35.3)	自 然・緑化対策 (26.5)	資 源 環 境 対 策 (25.9)	交 通 対 策 (23.5)	職員の接客態度 /住宅対策 (21.8)
第11ブロック	122	都 市 開 発 (37.7)	自 然・緑化対策 (31.1)	職員の接客態度 (26.2)	交 通 対 策 (25.4)	情 報 提 供 (24.6)
第12ブロック	111	都 市 開 発 (32.4)	資 源 環 境 対 策 (26.1)	情 報 提 供 (23.4)	自 然・緑化対策/交通対策 /職員の接客態度 (21.6)	
第13ブロック	142	自 然・緑化対策 (29.6)	都 市 開 発/交通対策 (27.5)		資 源 環 境 対 策 (20.4)	情 報 提 供 (18.3)

性別でみると、男女とも「都市開発」が第1位、「自然・緑化対策」が第2位となっている。また、第3位は男性では「交通対策」、女性では「職員の接客態度」と差異が生じている。

性・年代別でみると、女性70歳以上では「職員の接客態度」が第1位、「都市開発」が第2位となっているが、それ以外の全ての年代で「都市開発」は第1位となっている。(表7-1-3)

表7-1-3 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み - 性別、性・年代別(上位5位)

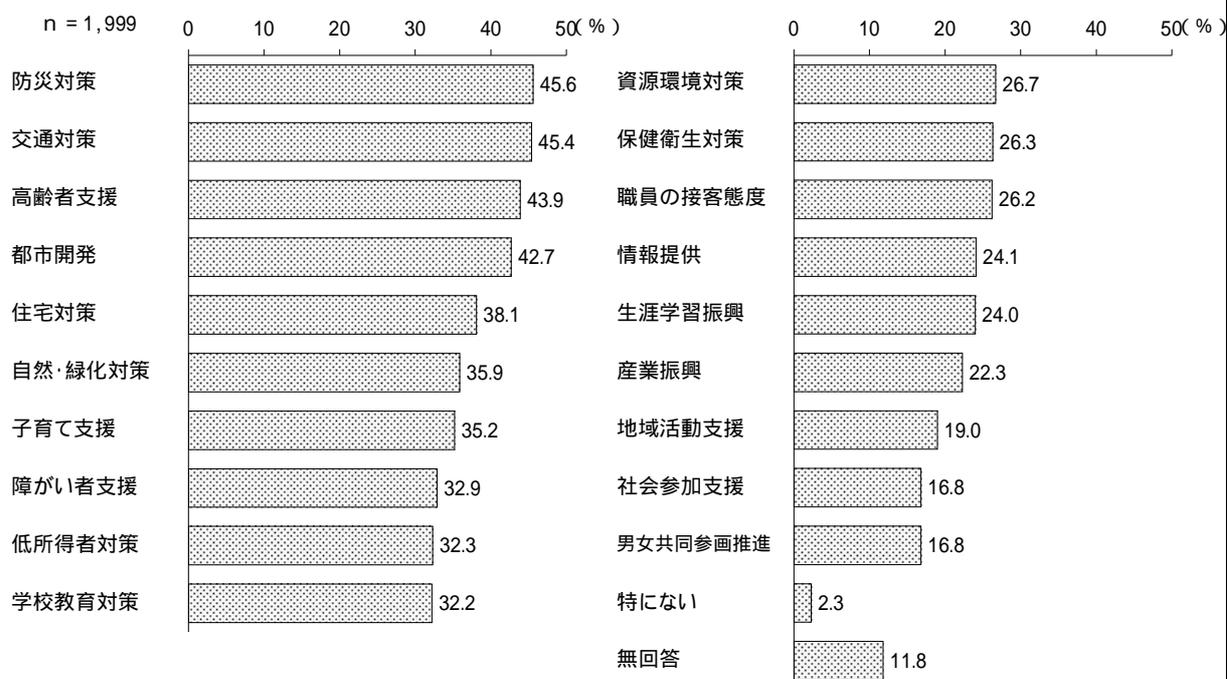
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,999	都 市 開 発 (35.6)	自 然・緑化対策 (30.0)	交 通 対 策 (26.8)	職員の接客態度 (24.5)	資 源 環 境 対 策 (23.9)
男 性 (計)	870	都 市 開 発 (35.2)	自 然・緑化対策 (29.1)	交 通 対 策 (27.5)	職員の接客態度 (21.4)	資 源 環 境 対 策 (21.0)
20 代	96	都 市 開 発 / 自 然・緑化対策 (17.7)		防 災 対 策 (15.6)	交 通 対 策 / 職員の接客態度 (14.6)	
30 代	147	都 市 開 発 / 自 然・緑化対策 (28.6)		交 通 対 策 (22.4)	子 育 て 支 援 (17.7)	資 源 環 境 対 策 (14.3)
40 代	156	都 市 開 発 (39.7)	自 然・緑化対策 (25.0)	交 通 対 策 (23.1)	子 育 て 支 援 (18.6)	職員の接客態度 / 住 宅対策 / 資 源 環 境 対 策 (16.7)
50 代	137	都 市 開 発 (36.5)	交 通 対 策 (29.9)	自 然・緑化対策 (27.0)	資 源 環 境 対 策 (21.2)	職員の接客態度 (19.0)
60 代	179	都 市 開 発 (35.8)	自 然・緑化対策 (32.4)	交 通 対 策 (30.7)	資 源 環 境 対 策 (27.4)	職員の接客態度 (26.3)
70 歳 以 上	154	都 市 開 発 (45.5)	自 然・緑化対策 / 交 通 対 策 (38.3)		職員の接客態度 (35.1)	高 齢 者 支 援 (33.8)
女 性 (計)	1,040	都 市 開 発 (35.9)	自 然・緑化対策 (30.3)	職員の接客態度 (26.5)	資 源 環 境 対 策 (26.2)	交 通 対 策 (25.7)
20 代	98	都 市 開 発 (29.6)	自 然・緑化対策 (26.5)	交 通 対 策 / 子 育 て 支 援 (18.4)		資 源 環 境 対 策 (16.3)
30 代	177	都 市 開 発 (33.3)	自 然・緑化対策 / 子 育 て 支 援 (20.3)		交 通 対 策 (19.2)	資 源 環 境 対 策 (17.5)
40 代	153	都 市 開 発 (34.0)	自 然・緑化対策 (28.8)	交 通 対 策 (21.6)	資 源 環 境 対 策 / 情 報 提 供 (20.3)	
50 代	152	都 市 開 発 (39.5)	自 然・緑化対策 (32.9)	交 通 対 策 / 資 源 環 境 対 策 (26.3)		職員の接客態度 (19.7)
60 代	217	都 市 開 発 (39.6)	職員の接客態度 (36.9)	資 源 環 境 対 策 (35.9)	自 然・緑化対策 (34.6)	交 通 対 策 (32.3)
70 歳 以 上	242	職員の接客態度 (40.5)	都 市 開 発 (36.0)	自 然・緑化対策 (34.3)	資 源 環 境 対 策 / 保 健 衛 生 対 策 (31.4)	

(1 - 1) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み
世論調査実施上、初めて「防災対策」が1位

問31(2) あなたが今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを、下の表からお選びください。(はあてはまるものすべて)

図7-2-1 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
防 災 対 策	防災活動の充実、都市の不燃化など	資 源 環 境 対 策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
交 通 対 策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	保 健 衛 生 対 策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
高 齢 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	職 員 の 接 客 態 度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など
都 市 開 発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	情 報 提 供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
住 宅 対 策	良質な住宅の供給支援など	生 涯 学 習 振 興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	産 業 振 興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
子 育 て 支 援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	地 域 活 動 支 援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
障 がい 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	社 会 参 加 支 援	NPOやボランティアの育成や支援など
低 所 得 者 対 策	生活の援助や自立支援など	男 女 共 同 参 画 推 進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
学 校 教 育 対 策	教育内容の充実、施設の改修など		

今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを聞いたところ、「防災対策」(45.6%)と「交通対策」(45.4%)が4割半ばと高く、次いで「高齢者支援」(43.9%)、「都市開発」(42.7%)、「住宅対策」(38.1%)、「自然・緑化対策」(35.9%)の順となっている。(図7-2-1)

平成 23 年調査と比べると、前回第 3 位の「防災対策」が第 1 位となっている。また、前回第 1 位だった「交通対策」が第 2 位に、前回第 2 位の「高齢者支援」が第 3 位、前回第 7 位の「住宅対策」が第 5 位となっている。(表 7 - 2 - 2)

「防災対策」が第 1 位となったのは、世論調査実施上、初めてである。

表 7 - 2 - 2 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み - 上位 5 位の推移 (対前年調査)

区の取り組み	平成24年の上位 5 位		平成23年の順位	
	順位	(%)	順位	(%)
防 災 対 策	第 1 位	45.6	第 3 位	28.8
交 通 対 策	第 2 位	45.4	第 1 位	33.6
高 齢 者 支 援	第 3 位	43.9	第 2 位	33.1
都 市 開 発	第 4 位	42.7	第 4 位	23.1
住 宅 対 策	第 5 位	38.1	第 7 位	14.2

(注)平成 23 年調査までは選択個数制限が 3 つまでであったが、今回調査ではあてはまるものすべてを選択に変更になったため、結果を単純に比較することはできない。

調査が始まった平成 13 年調査と比べると、平成 13 年に第 7 位の「防災対策」が第 1 位、平成 13 年に第 1 位だった「高齢者支援」が第 3 位、平成 13 年に第 3 位の「都市開発」が第 4 位となっている。(表 7 - 2 - 3)

表 7 - 2 - 3 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み - 上位 5 位の推移 (対平成13年調査)

区の取り組み	平成24年の上位 5 位		平成13年の順位	
	順位	(%)	順位	(%)
防 災 対 策	第 1 位	45.6	第 7 位	14.9
交 通 対 策	第 2 位	45.4	第 2 位	29.1
高 齢 者 支 援	第 3 位	43.9	第 1 位	35.9
都 市 開 発	第 4 位	42.7	第 3 位	16.9
住 宅 対 策	第 5 位	38.1	第 5 位	16.7

(注)平成 13 年調査では選択個数制限が 3 つまでであったが、今回調査ではあてはまるものすべてを選択に変更になったため、結果を単純に比較することはできない。

地域ブロック別でみると、「交通対策」は13ブロック中8ブロックで第1位を占めている。また、「防災対策」は4ブロックで第1位を占め、「高齢者支援」は第9ブロックで第1位となっている。(表7-2-4)

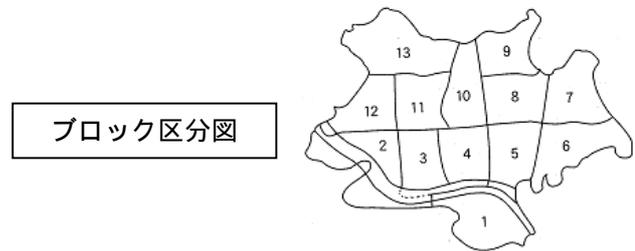


表7-2-4 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み - 地域ブロック別(上位5位)

(%)						
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,999	防 災 対 策 (45.6)	交 通 対 策 (45.4)	高 齢 者 支 援 (43.9)	都 市 開 発 (42.7)	住 宅 対 策 (38.1)
第1ブロック	245	防 災 対 策 (49.8)	高 齢 者 支 援 (44.1)	自 然・緑化対策 (43.7)	都 市 開 発 (42.4)	住 宅 対 策 (39.6)
第2ブロック	139	交 通 対 策 (49.6)	防 災 対 策 (48.2)	高 齢 者 支 援 (40.3)	都 市 開 発 (36.7)	自 然・緑化対策 /障がい者支援 (34.5)
第3ブロック	113	交 通 対 策 / 都 市 開 発 (42.5)		防 災 対 策 / 高 齢 者 支 援 (38.1)		住 宅 対 策 (37.2)
第4ブロック	165	防 災 対 策 (49.7)	交 通 対 策 (47.9)	高 齢 者 支 援 (43.0)	住 宅 対 策 (38.8)	都 市 開 発 (36.4)
第5ブロック	185	交 通 対 策 (51.9)	高 齢 者 支 援 (50.3)	防 災 対 策 (47.0)	都 市 開 発 (45.9)	住 宅 対 策 (41.6)
第6ブロック	229	防 災 対 策 (47.6)	高 齢 者 支 援 (43.7)	交 通 対 策 (42.8)	都 市 開 発 (40.2)	学 校 教 育 対 策 (34.5)
第7ブロック	163	交 通 対 策 (43.6)	防 災 対 策 (42.9)	高 齢 者 支 援 (40.5)	住 宅 対 策 (38.7)	子 育 て 支 援 (36.2)
第8ブロック	128	交 通 対 策 (50.8)	都 市 開 発 (46.1)	高 齢 者 支 援 (45.3)	防 災 対 策 (43.8)	自 然・緑化対策 (39.8)
第9ブロック	87	高 齢 者 支 援 (50.6)	住 宅 対 策 / 障 がい 者 支 援 (41.4)		都 市 開 発 (40.2)	交 通 対 策 /低所得者対策 (39.1)
第10ブロック	170	防 災 対 策 (48.8)	都 市 開 発 (46.5)	交 通 対 策 (42.4)	高 齢 者 支 援 / 住 宅 対 策 (41.8)	
第11ブロック	122	交 通 対 策 (47.5)	都 市 開 発 (46.7)	防 災 対 策 (43.4)	子 育 て 支 援 (42.6)	高 齢 者 支 援 (41.8)
第12ブロック	111	交 通 対 策 / 住 宅 対 策 (49.5)		都 市 開 発 (47.7)	子 育 て 支 援 (43.2)	防 災 対 策 (41.4)
第13ブロック	142	交 通 対 策 (52.8)	高 齢 者 支 援 (52.1)	都 市 開 発 (51.4)	防 災 対 策 (47.2)	低 所 得 者 対 策 /学 校 教 育 対 策 (38.7)

性別で見ると、「防災対策」は女性で第1位、男性で第2位となっている。

性・年代別で見ると、男性では「交通対策」が20代から50代で第1位、女性では「防災対策」が20代、50代で第1位となっている。また、「高齢者支援」は男女とも60代、70歳以上で第1位となっている。（表7-2-5）

表7-2-5 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み - 性別、性・年代別（上位5位）

		(%)				
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,999	防 災 対 策 (45.6)	交 通 対 策 (45.4)	高 齢 者 支 援 (43.9)	都 市 開 発 (42.7)	住 宅 対 策 (38.1)
男 性 (計)	870	交 通 対 策 (46.2)	防 災 対 策 (44.9)	都 市 開 発 (43.8)	高 齢 者 支 援 (42.1)	住 宅 対 策 (37.8)
20 代	96	交 通 対 策 (44.8)	防 災 対 策 (40.6)	都 市 開 発 (39.6)	子 育 て 支 援 (38.5)	学 校 教 育 対 策 (37.5)
30 代	147	交 通 対 策 (57.1)	都 市 開 発 (53.7)	子 育 て 支 援 (53.1)	防 災 対 策 (49.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (46.9)
40 代	156	交 通 対 策 (53.8)	都 市 開 発 (52.6)	防 災 対 策 (50.0)	高 齢 者 支 援 (46.8)	子 育 て 支 援 (45.5)
50 代	137	交 通 対 策 / 都 市 開 発 (43.1)		防 災 対 策 / 高 齢 者 支 援 (42.3)		住 宅 対 策 (40.1)
60 代	179	高 齢 者 支 援 (52.0)	防 災 対 策 (48.0)	交 通 対 策 (39.7)	都 市 開 発 / 住 宅 対 策 (38.0)	
70 歳 以 上	154	高 齢 者 支 援 (49.4)	交 通 対 策 (39.6)	防 災 対 策 (37.0)	都 市 開 発 (35.7)	低 所 得 者 対 策 (35.1)
女 性 (計)	1,040	防 災 対 策 (46.9)	高 齢 者 支 援 (46.6)	交 通 対 策 (45.7)	都 市 開 発 (42.8)	住 宅 対 策 (38.9)
20 代	98	防 災 対 策 / 交 通 対 策 (54.1)		子 育 て 支 援 (53.1)	住 宅 対 策 (51.0)	都 市 開 発 (50.0)
30 代	177	子 育 て 支 援 (58.8)	交 通 対 策 (54.8)	都 市 開 発 (49.2)	防 災 対 策 (48.6)	学 校 教 育 対 策 (48.0)
40 代	153	都 市 開 発 (51.6)	交 通 対 策 (50.3)	防 災 対 策 (49.0)	高 齢 者 支 援 (43.8)	住 宅 対 策 (42.5)
50 代	152	防 災 対 策 (51.3)	高 齢 者 支 援 (50.0)	交 通 対 策 (45.4)	都 市 開 発 / 障 が い 者 支 援 (39.5)	
60 代	217	高 齢 者 支 援 (58.5)	防 災 対 策 (48.4)	交 通 対 策 (44.2)	障 が い 者 支 援 (41.9)	低 所 得 者 対 策 (41.5)
70 歳 以 上	242	高 齢 者 支 援 (48.8)	防 災 対 策 (37.2)	都 市 開 発 (34.7)	交 通 対 策 / 住 宅 対 策 (33.9)	

ライフステージ別でみると、「交通対策」は独身期と家族成長後期で第1位、「高齢者支援」は家族成熟期と高齢期とその他壮年期で第1位、「子育て支援」は家族形成期と家族成長前期で第1位となっている。(表7-2-6)

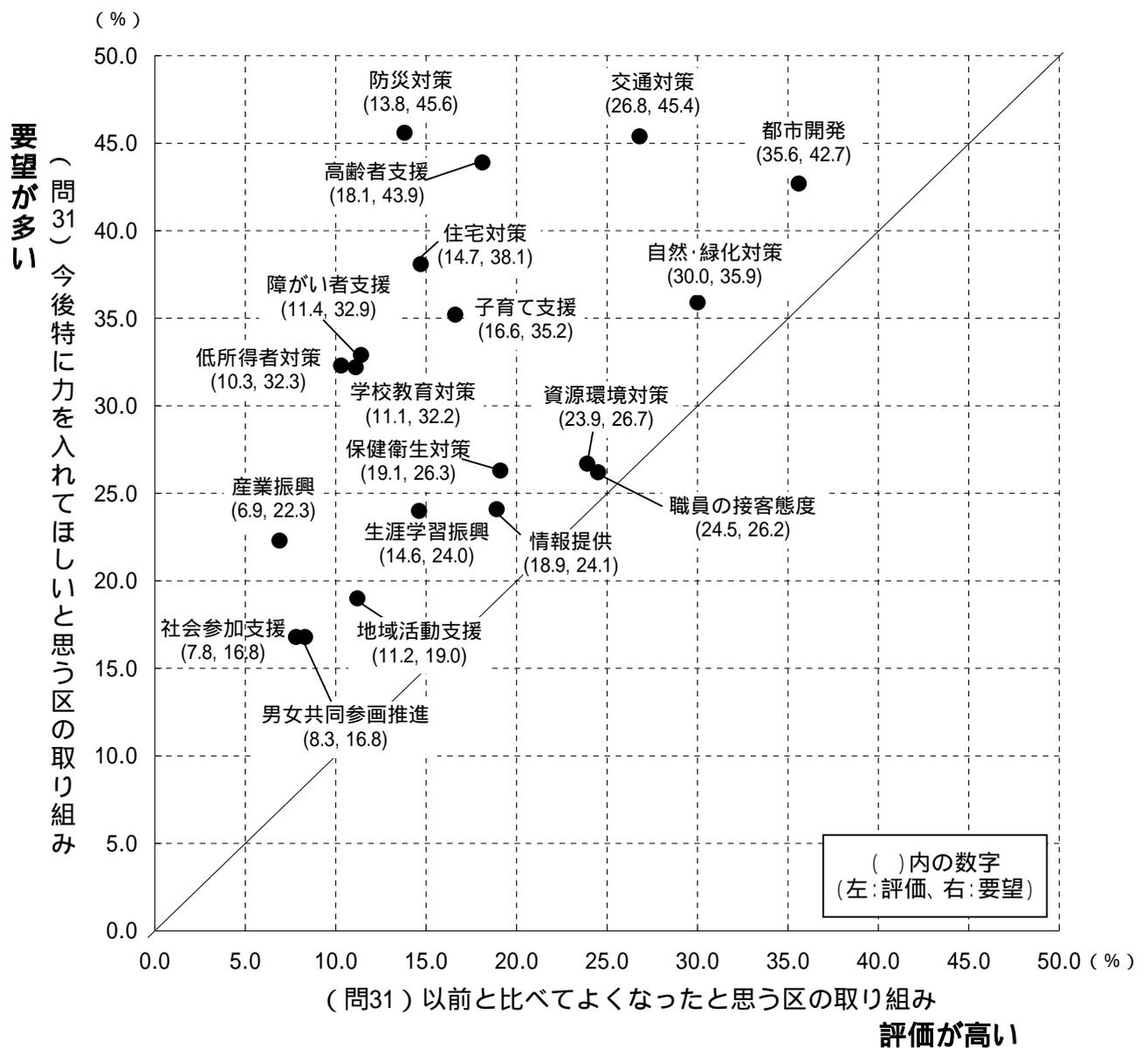
表7-2-6 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み - ライフステージ別(上位5位)

(%)						
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,999	防 災 対 策 (45.6)	交 通 対 策 (45.4)	高 齢 者 支 援 (43.9)	都 市 開 発 (42.7)	住 宅 対 策 (38.1)
独身期	251	交 通 対 策 (50.2)	防 災 対 策 (49.4)	都 市 開 発 (45.4)	住 宅 対 策 (41.0)	自然・緑化対策 (38.6)
家族形成期	187	子 育 て 支 援 (67.9)	交 通 対 策 (57.2)	都 市 開 発 (52.9)	防 災 対 策 (50.8)	自然・緑化対策 (48.7)
家族成長前期	169	子 育 て 支 援 (67.5)	学 校 教 育 対 策 (60.9)	交 通 対 策 (60.4)	都 市 開 発 (55.0)	防 災 対 策 (52.7)
(家族成長小学校期)	116	子 育 て 支 援 (64.7)	学 校 教 育 対 策 (60.3)	交 通 対 策 (57.8)	都 市 開 発 (49.1)	防 災 対 策 (48.3)
(家族成長中学校期)	53	子 育 て 支 援 (73.6)	都 市 開 発 (67.9)	交 通 対 策 (66.0)	防 災 対 策 / 学 校 教 育 対 策 (62.3)	
家族成長後期	124	交 通 対 策 (53.2)	都 市 開 発 (51.6)	防 災 対 策 (50.0)	高 齢 者 支 援 (46.0)	学 校 教 育 対 策 (39.5)
家族成熟期	290	高 齢 者 支 援 (49.0)	防 災 対 策 (45.5)	住 宅 対 策 (41.4)	交 通 対 策 (41.0)	都 市 開 発 (39.3)
高齢期	612	高 齢 者 支 援 (48.9)	防 災 対 策 (39.4)	交 通 対 策 (37.3)	都 市 開 発 (36.4)	住 宅 対 策 (35.0)
(ひとり暮らし高齢者)	115	高 齢 者 支 援 (44.3)	住 宅 対 策 (40.9)	交 通 対 策 / 都 市 開 発 (33.0)		障 がい 者 支 援 (31.3)
(夫婦二人暮らし高齢者)	208	高 齢 者 支 援 (54.8)	防 災 対 策 (38.5)	交 通 対 策 (37.5)	住 宅 対 策 (35.6)	都 市 開 発 (34.6)
(その他の高齢者)	289	高 齢 者 支 援 (46.4)	防 災 対 策 (43.9)	都 市 開 発 (39.1)	交 通 対 策 (38.8)	低 所 得 者 対 策 (38.1)
その他壮年期	282	高 齢 者 支 援 (52.5)	防 災 対 策 (46.5)	交 通 対 策 (45.4)	都 市 開 発 (41.1)	住 宅 対 策 (39.4)
(壮年独身者)	187	高 齢 者 支 援 (51.9)	交 通 対 策 (47.1)	防 災 対 策 (46.5)	都 市 開 発 (43.3)	障 がい 者 支 援 / 低 所 得 者 対 策 (39.0)
(壮年夫婦のみ者)	95	高 齢 者 支 援 (53.7)	防 災 対 策 (46.3)	住 宅 対 策 (43.2)	交 通 対 策 (42.1)	自然・緑化対策 (40.0)

問31の「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」と「今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み」の比較を以下の図に示した。

右に位置するほど評価が高く、上に位置するほど要望が多いといえる。要望が多く、評価が低い項目（要望が35%を超え、評価が20%を下回る）は、「防災対策」、「高齢者支援」、「住宅対策」、「子育て支援」となっている。（図7-2-7）

図7-2-7 「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」と「今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み」の比較



<参考> 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みの推移

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたが今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを次の中から3つまで選んでください。(は3つまで)

(%)

調査年度	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成23年	1,623	交通対策 (33.6)	高齢者支援 (33.1)	防災対策 (28.8)	都市開発 (23.1)	子育て支援 (21.9)
平成22年	1,579	高齢者支援 (36.2)	交通対策 (27.8)	子育て支援 (20.3)	低所得者対策 (18.3)	都市開発/ 学校教育対策 (18.1)
平成21年	1,532	高齢者支援 (38.3)	交通対策 (25.7)	低所得者対策 (18.2)	子育て支援 (18.0)	災害対策 (17.7)
平成20年	1,248	高齢者支援 (39.4)	交通対策 (24.5)	災害対策 (21.2)	自然・緑化対策 (18.1)	子育て支援 (17.0)
平成19年	1,475	高齢者支援 (39.1)	交通対策 (29.2)	災害対策 (22.2)	自然・緑化対策 (22.1)	都市開発 (19.9)
平成18年	1,383	高齢者支援 (34.8)	交通対策 (27.6)	災害対策 (20.2)	自然・緑化対策 (18.9)	子育て支援 (17.9)
平成17年	1,486	高齢者支援 (34.1)	交通対策 (30.0)	災害対策 (28.3)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (18.7)
平成16年	1,497	高齢者支援 (38.5)	交通対策 (31.1)	子育て支援 (21.2)	自然・緑化対策 (19.6)	都市開発 (16.8)
平成15年	1,890	交通対策 (33.9)	高齢者支援 (33.1)	自然・緑化対策 (20.6)	都市開発 (20.0)	子育て支援 (19.8)
平成14年	1,808	高齢者支援 (36.6)	交通対策 (33.4)	都市開発 (20.4)	資源環境対策 (19.1)	自然・緑化対策 (18.0)
平成13年	1,907	高齢者支援 (35.9)	交通対策 (29.1)	都市開発 (16.9)	子育て支援 (16.8)	住宅対策 (16.7)

(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、平成13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

(平成12年まで 訪問面接法)

問 区で最も力を入れてやってほしい対策を、この中から2つまでお答えください。

(は2つまで)

(%)

調査年度	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成12年	1,420	高齢者福祉 (37.7)	保健医療の実 充 (16.9)	ごみ・リサイ クル対策 (16.2)	交通網の整備 (10.7)	幼児・児童 福祉 (9.5)
平成11年	1,503	高齢者福祉 (45.4)	保健医療の実 充 (17.2)	ごみ・リサイ クル対策 (15.0)	幼児・児童 福祉 (10.4)	交通網の整備 (9.8)
平成10年	1,497	高齢者福祉 (39.3)	保健医療の実 充 (19.9)	交通網の整備 (12.6)	住宅対策 (10.8)	道路の整備 (9.2)
平成9年	1,533	高齢者福祉 (42.3)	保健医療の実 充 (23.7)	交通網の整備 (12.2)	防災対策 (10.8)	住宅対策 (8.8)
平成8年	1,512	高齢者福祉 (43.9)	保健医療の実 充 (20.0)	ごみ・リサイ クル対策 (16.5)	交通網の整備 (14.1)	住宅対策 (14.0)
平成7年	1,500	高齢者福祉 (36.9)	ごみ・リサイ クル対策 (16.3)	防災対策 (15.1)	交通網の整備 (13.0)	住宅対策 (12.1)
平成6年	1,549	高齢者福祉 (41.8)	ごみ・リサイ クル対策 (17.0)	住宅対策 (15.2)	交通網の整備 (14.3)	保健医療の 実 充 (13.2)

(2) 区の取り組みについての評価・印象

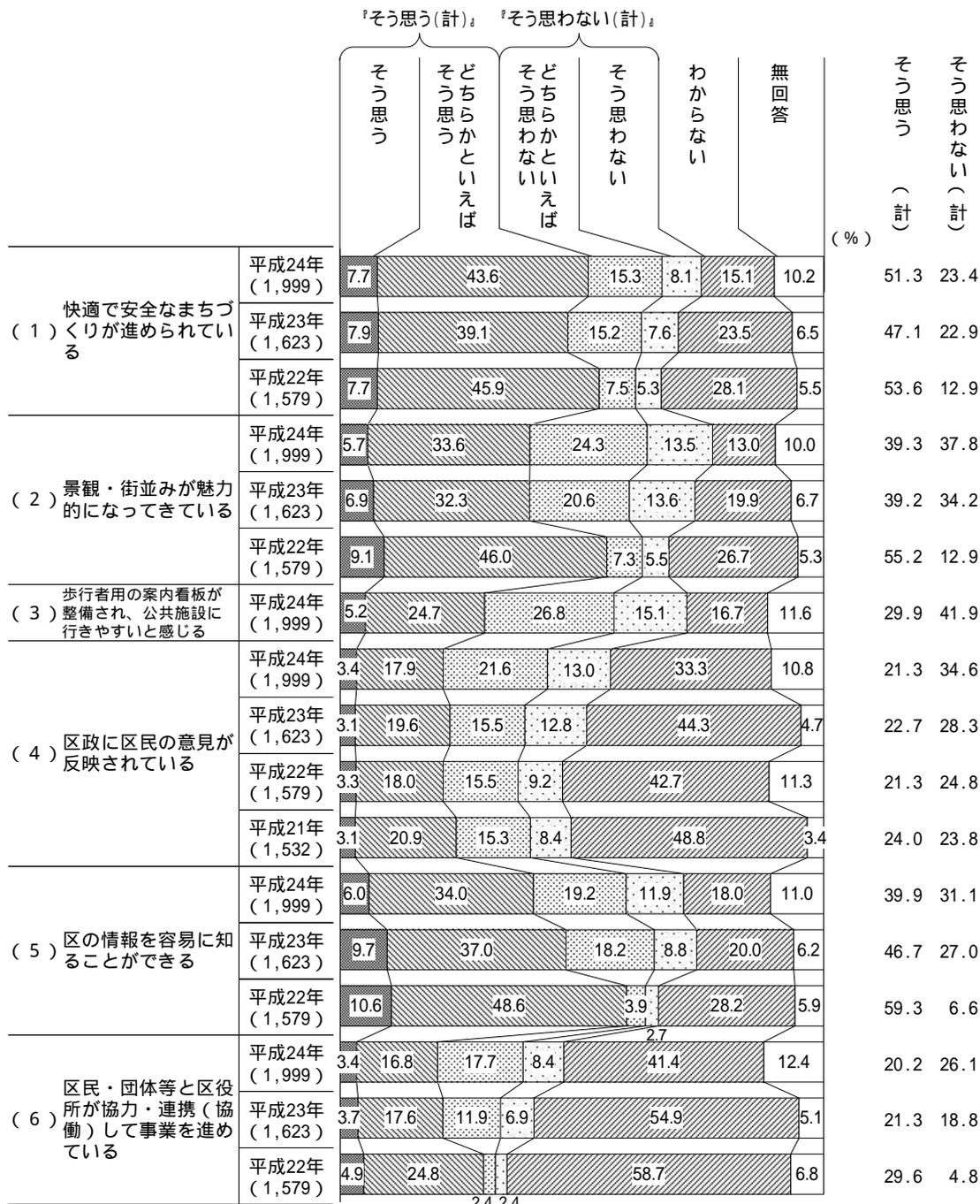
【快適で安全なまちづくりが進められている】と思う人が5割を超える

【歩行者用の案内看板が整備され、公共施設に行きやすいと感じる】と思わない人が4割を超える

問32 次の区の実践について、あなたはどのように感じていますか。

(は各項目とも1つだけ)

図7-3-1 区の実践についての評価・印象 - 過年度比較



(注) 平成24年調査では、「歩行者用の案内看板が整備され、公共施設に行きやすいと感じる」が追加されている。

区の取り組みについての評価・印象を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は、【快適で安全なまちづくりが進められている】(51.3%)で5割を超え、【区の情報を容易に知ることができる】(39.9%)、【景観・街並みが魅力的になってきている】(39.3%)がほぼ4割と、いずれの取り組みでも『そう思わない(計)』を上回っている。

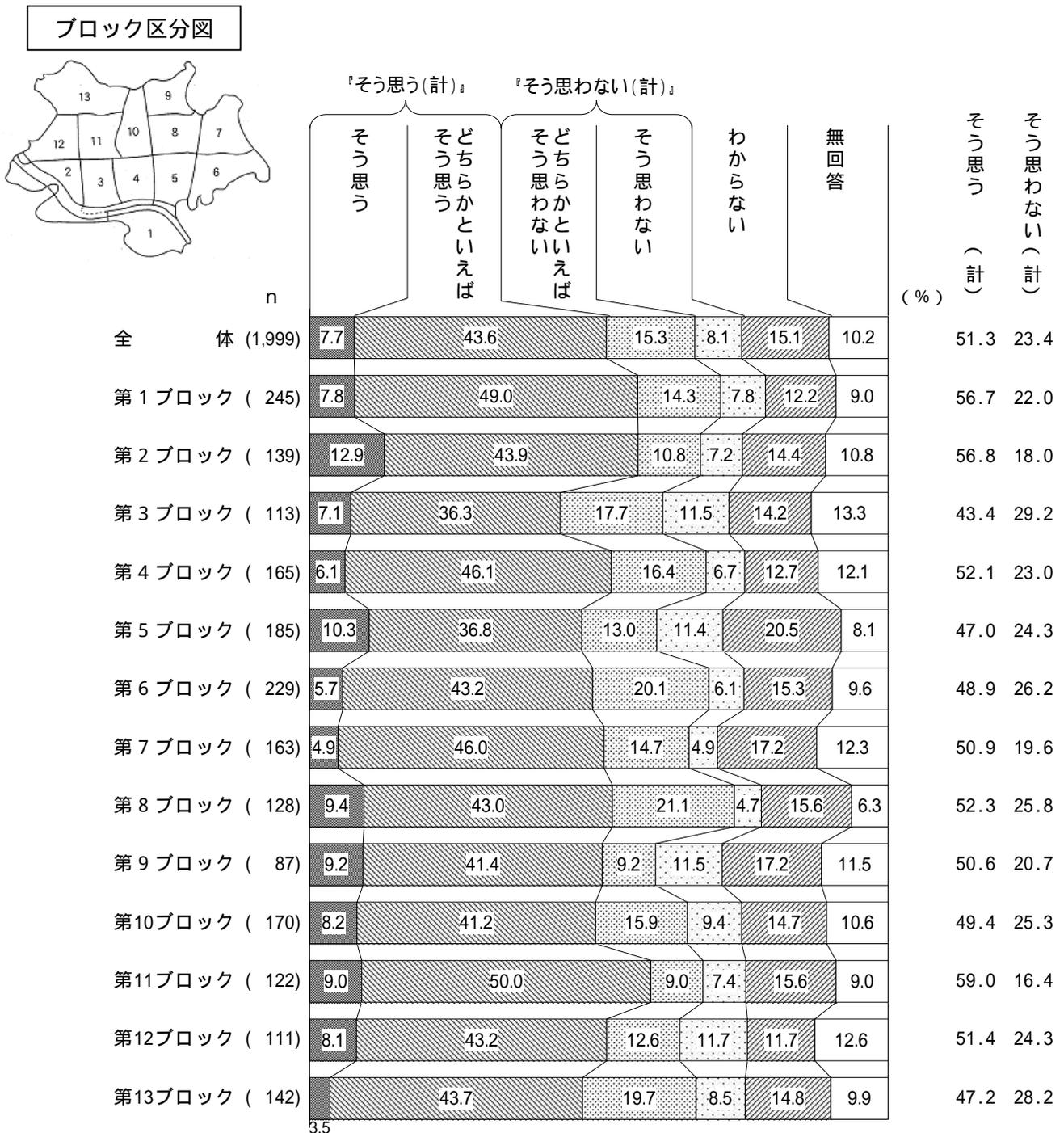
一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない(計)』は、今年度から調査項目に加えた【歩行者用の案内看板が整備され、公共施設に行きやすいと感じる】(41.9%)で4割を超え、【区政に区民の意見が反映されている】(34.6%)が3割半ば、【区民・団体等と区役所が協力・連携(協働)して事業を進めている】(26.1%)が2割半ばと、いずれの取り組みでも『そう思う(計)』を上回っている。

過去の調査と比較すると、平成23年より『そう思う(計)』は【快適で安全なまちづくりが進められている】で4.2ポイント増加し、評価・印象が向上している。また、平成23年より『そう思わない(計)』は【区民・団体等と区役所が協力・連携(協働)して事業を進めている】で7.3ポイント増加、【区政に区民の意見が反映されている】で6.3ポイント増加し、評価・印象が低下している。(図7-3-1)

地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第11ブロック(59.0%)でほぼ6割と最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第3ブロック(29.2%)でほぼ3割と高くなっている。(図7-3-2)

図7-3-2 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(1)

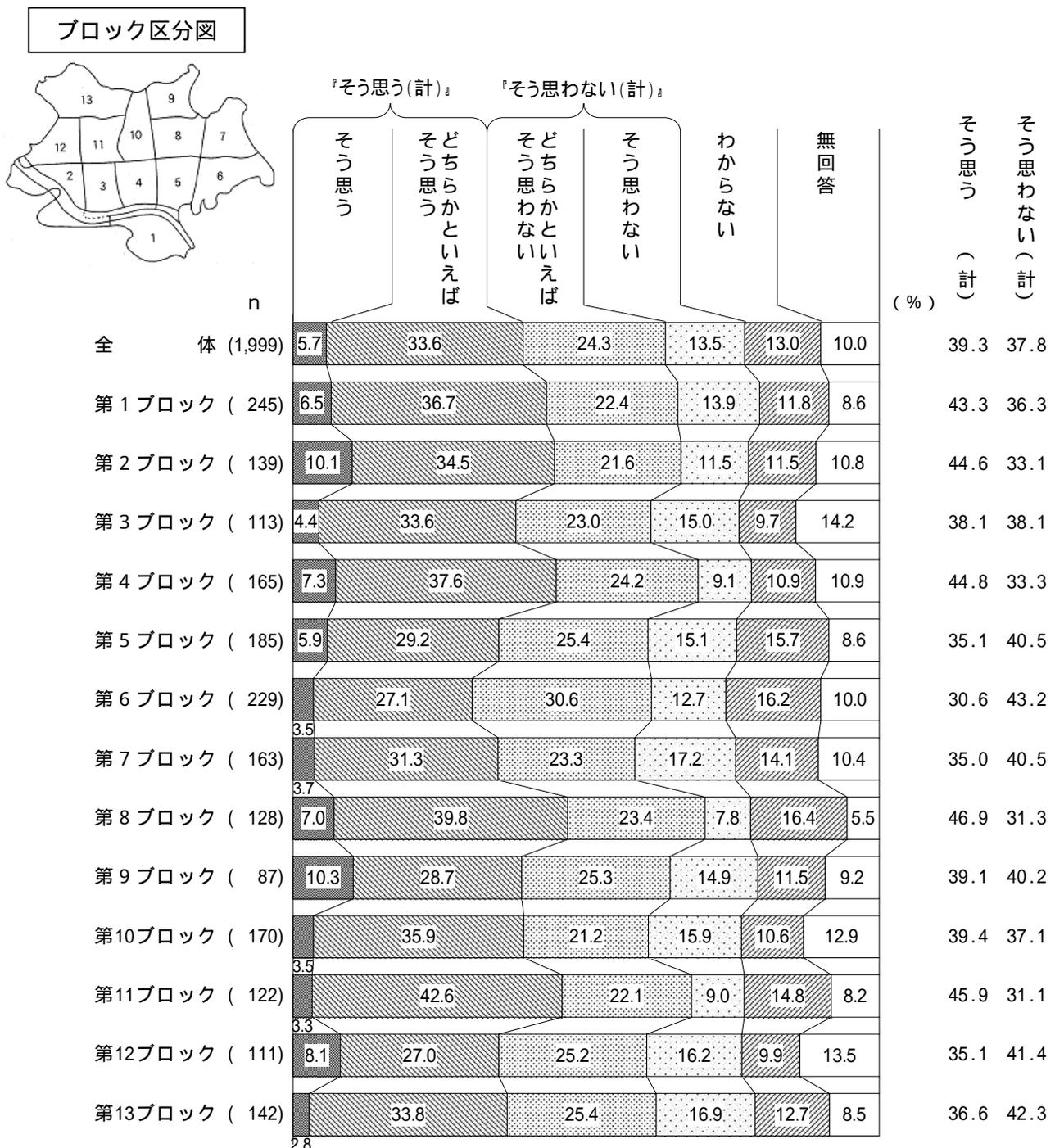
(1) 快適で安全なまちづくりが進められている



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第8ブロック(46.9%)で最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第6ブロック(43.2%)と第13ブロック(42.3%)と第12ブロック(41.4%)の順で高くなっている。(図7-3-3)

図7-3-3 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(2)

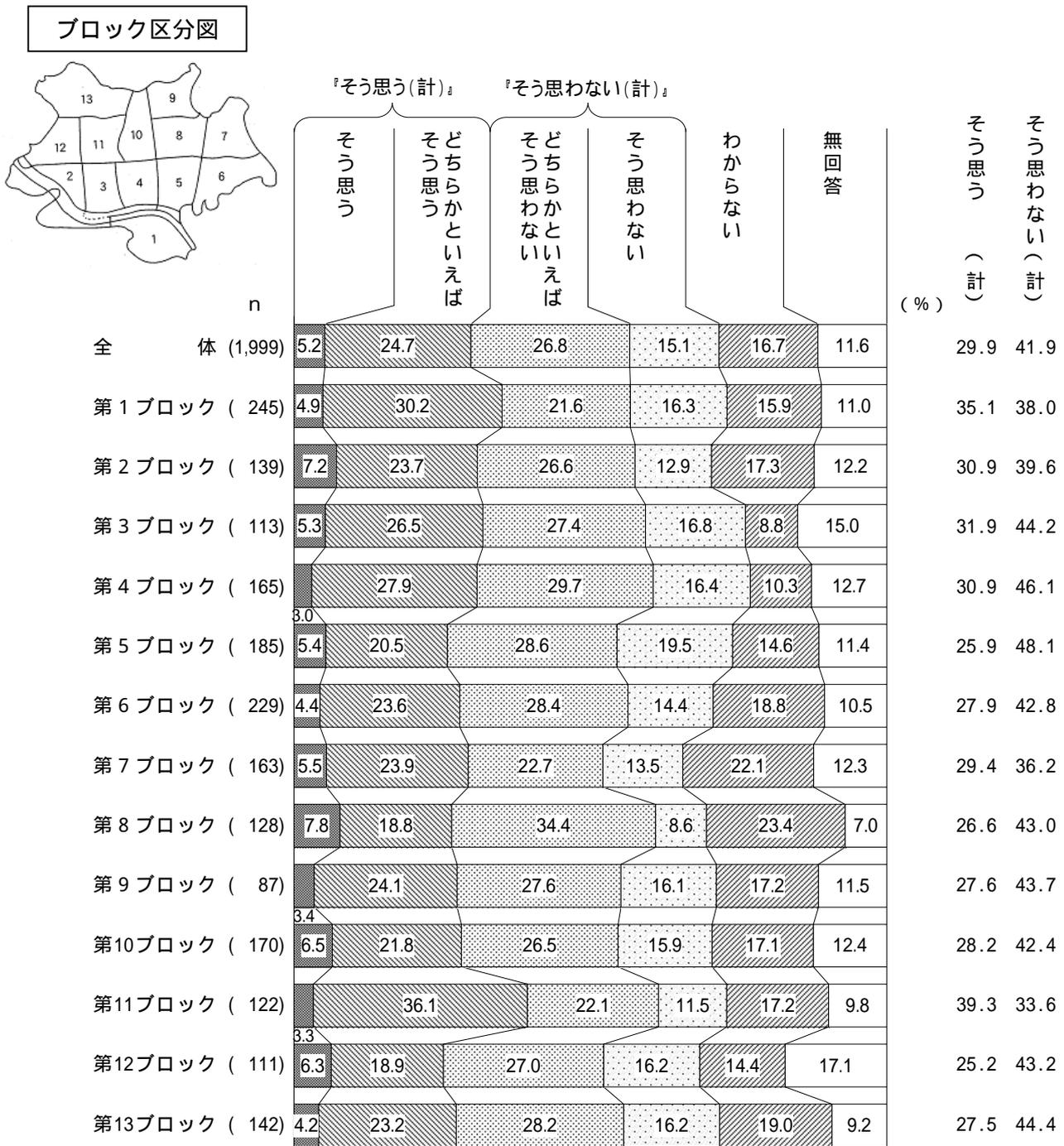
(2) 景観・街並みが魅力的になってきている



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第11ブロック(39.3%)でほぼ4割、第1ブロック(35.1%)で3割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第5ブロック(48.1%)で5割近くと高くなっている。(図7-3-4)

図7-3-4 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(3)

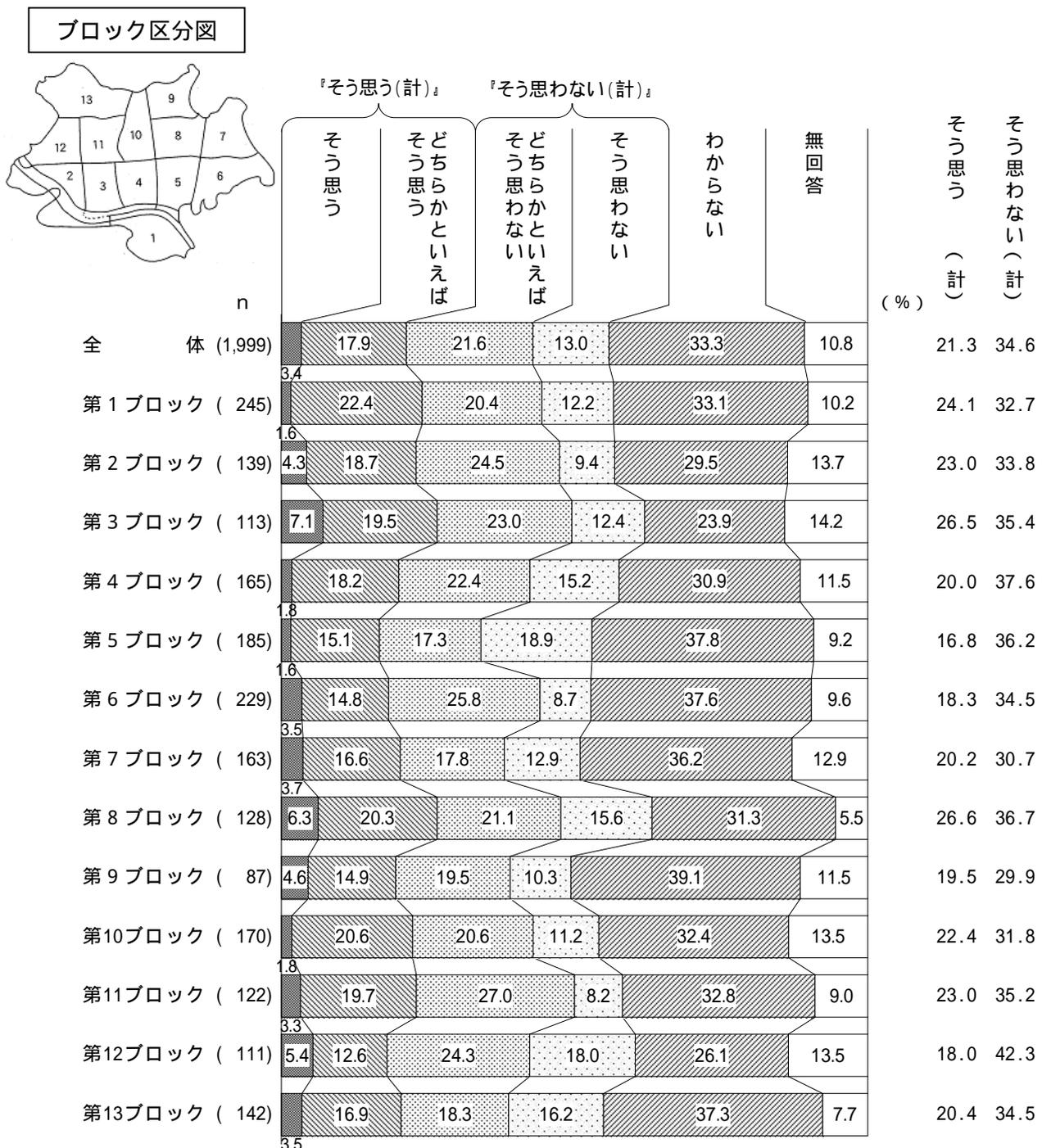
(3) 歩行者用の案内看板が整備され、公共施設に行きやすいと感じる



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第8ブロック(26.6%)と第3ブロック(26.5%)で2割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第12ブロック(42.3%)で4割を超え高くなっている。(図7-3-5)

図7-3-5 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(4)

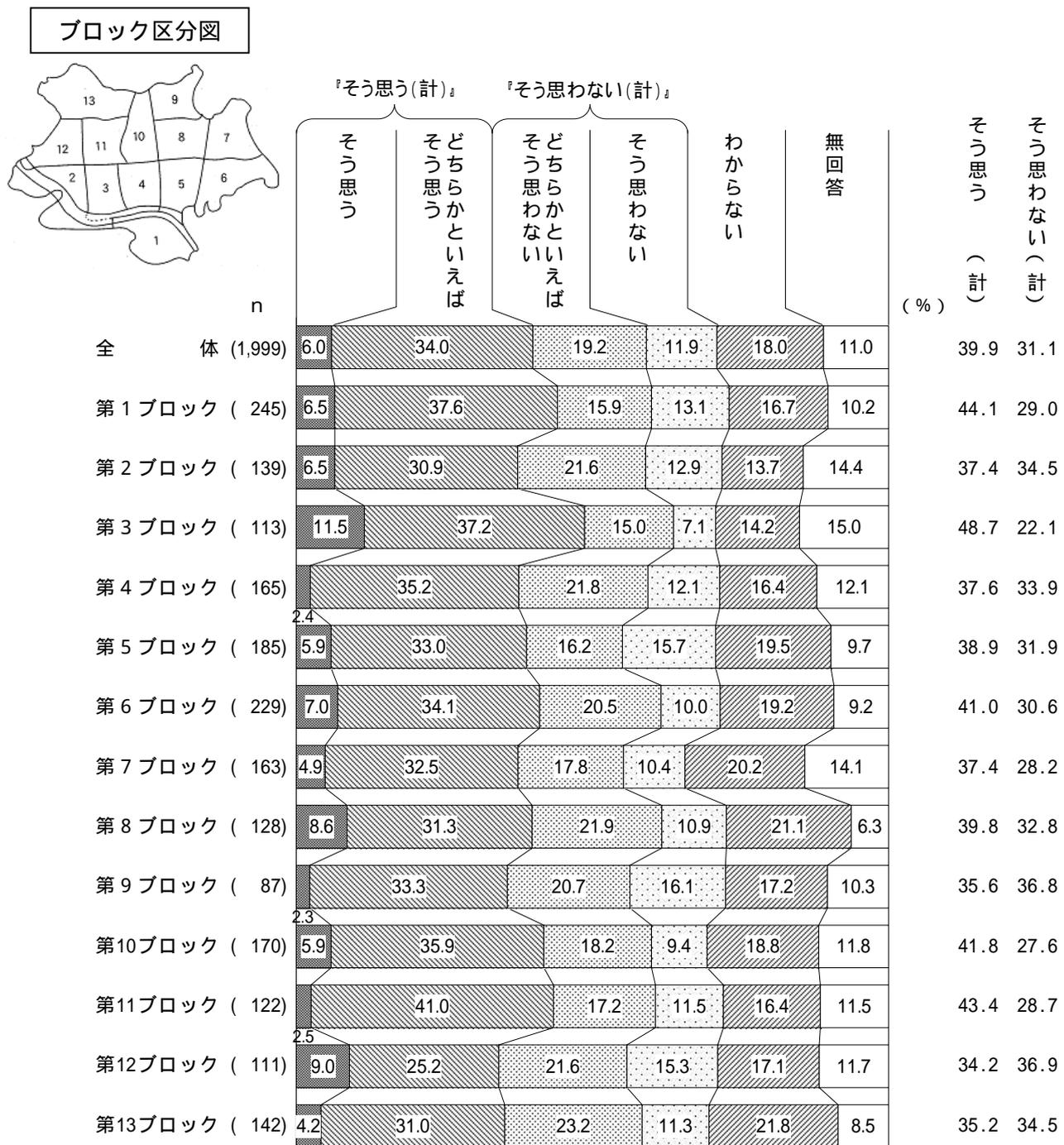
(4) 区政に区民の意見が反映されている



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第3ブロック(48.7%)で5割近くと最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第12ブロック(36.9%)と第9ブロック(36.8%)で3割半ばと高くなっている。(図7-3-6)

図7-3-6 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(5)

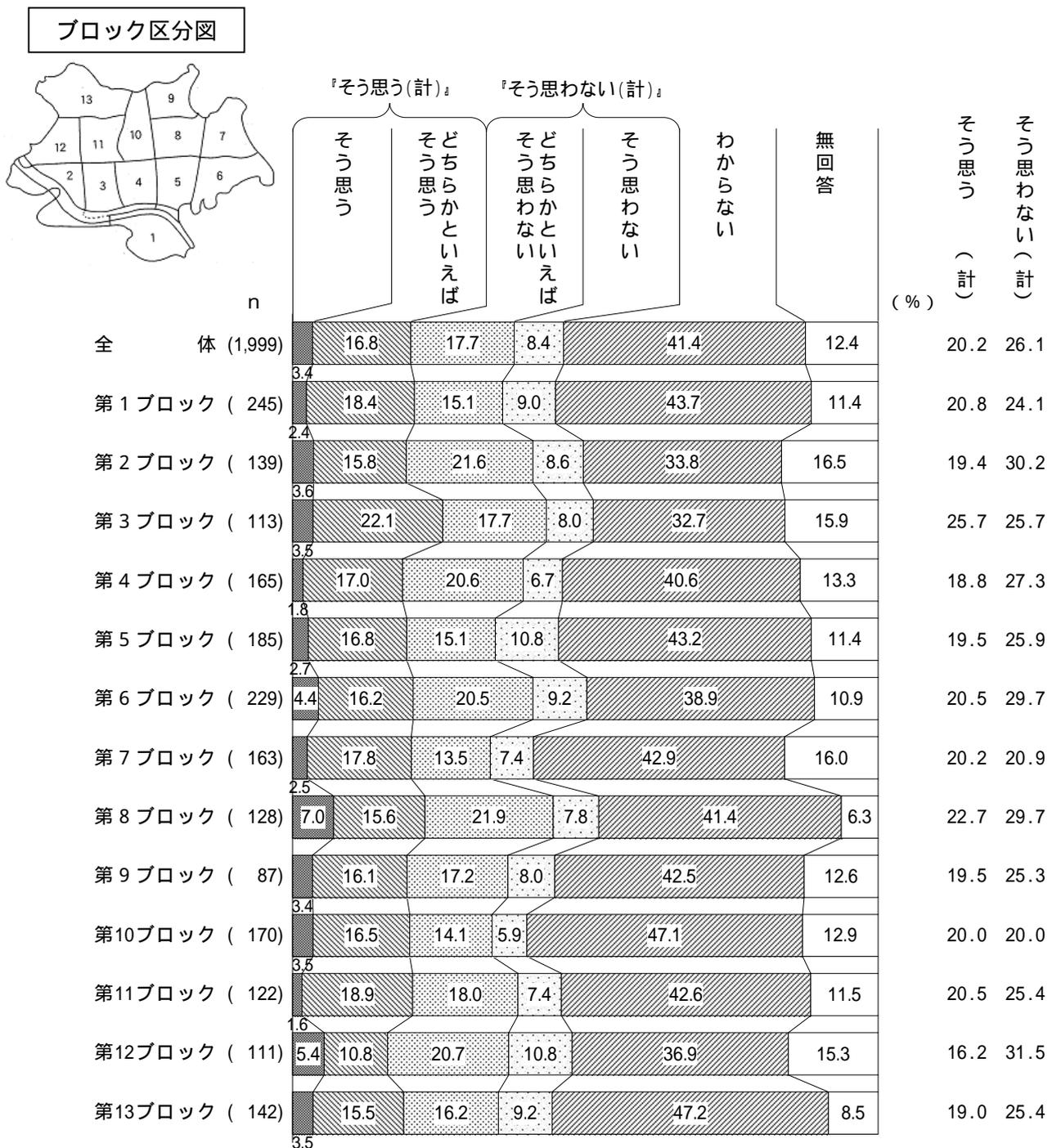
(5) 区の情報を知ることができる



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第3ブロック(25.7%)で2割半ばと最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第12ブロック(31.5%)と第2ブロック(30.2%)で3割を超え高くなっている。(図7-3-7)

図7-3-7 区の取り組みについての評価・印象 - 地域ブロック別(6)

(6) 区民・団体等と区役所が協力・連携(協働)して事業を進めている

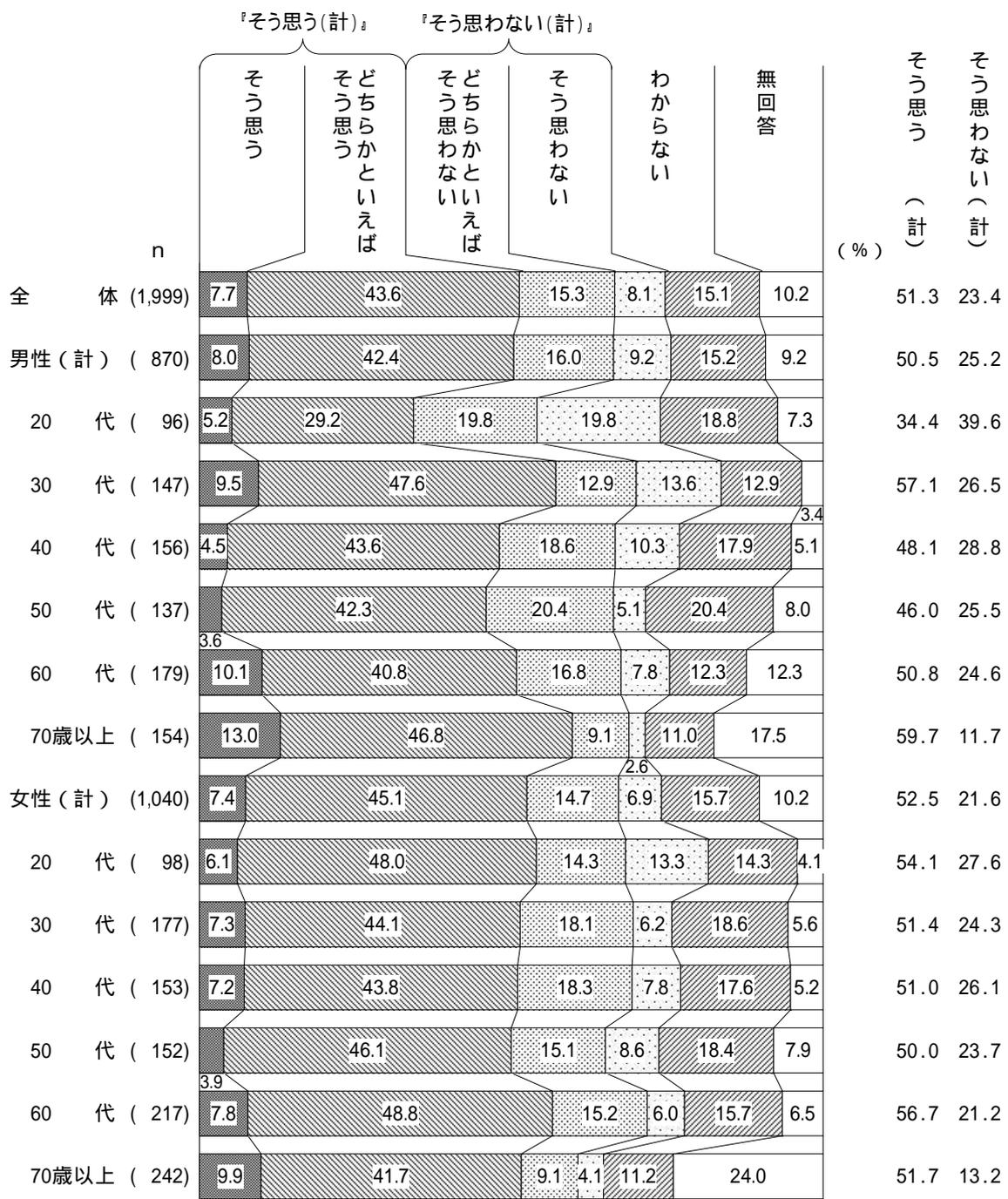


性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(25.2%)が女性(21.6%)より3.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男性70歳以上(59.7%)でほぼ6割と最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性20代(39.6%)でほぼ4割と高くなっている。(図7-3-8)

図7-3-8 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(1)

(1) 快適で安全なまちづくりが進められている

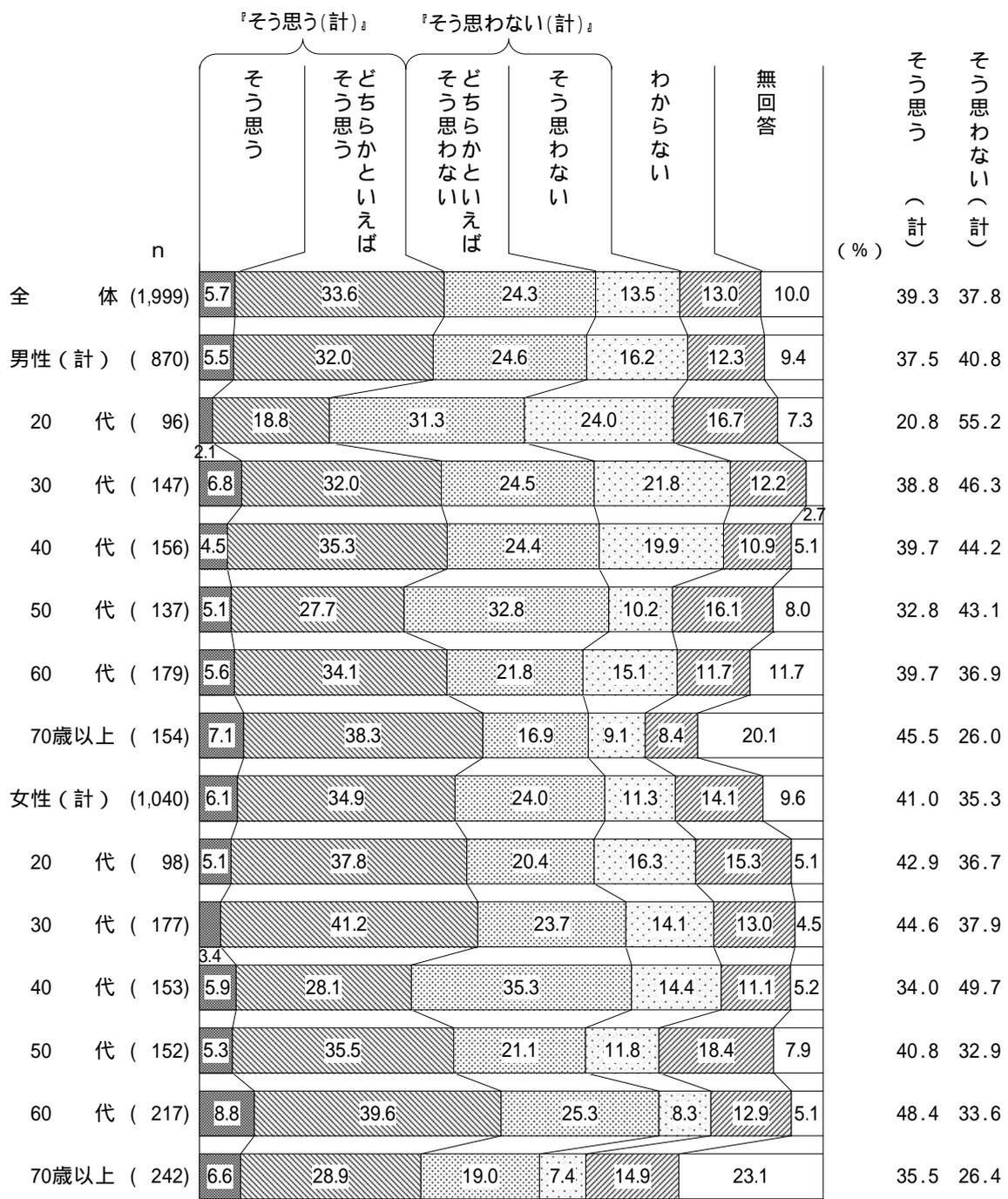


性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(40.8%)が女性(35.3%)より5.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は女性60代(48.4%)で5割近くと最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性20代(55.2%)で5割半ばと最も高くなっている。(図7-3-9)

図7-3-9 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(2)

(2) 景観・街並みが魅力的になってきている

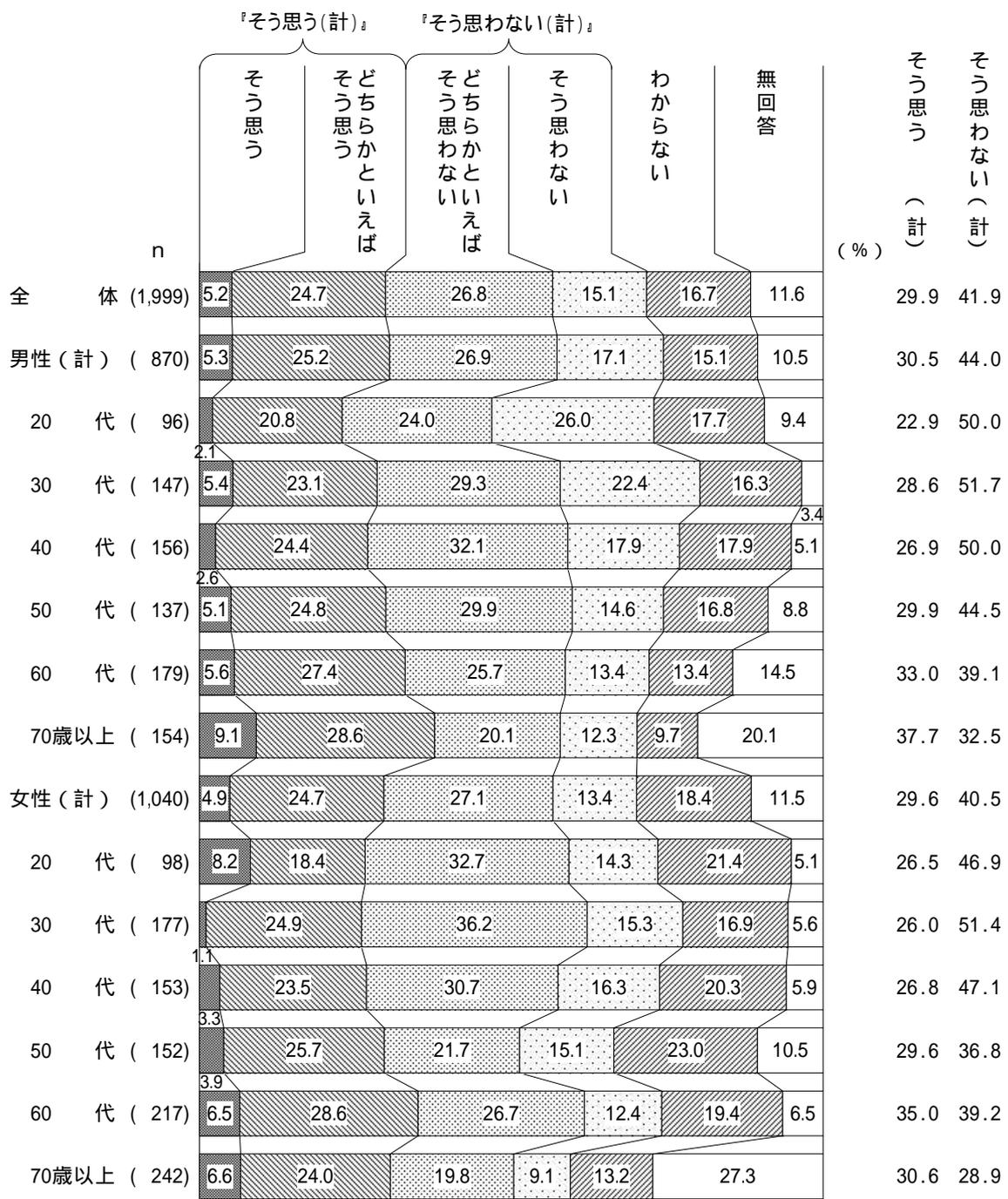


性別でみると、男性で『そう思わない(計)』(44.0%)が女性(40.5%)より3.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、『そう思う(計)』は男性70歳以上(37.7%)で4割近くと最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男女とも30代(男性51.7%・女性51.4%)が最も高くなっている。(図7-3-10)

図7-3-10 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(3)

(3) 歩行者用の案内看板が整備され、公共施設に行きやすいと感じる

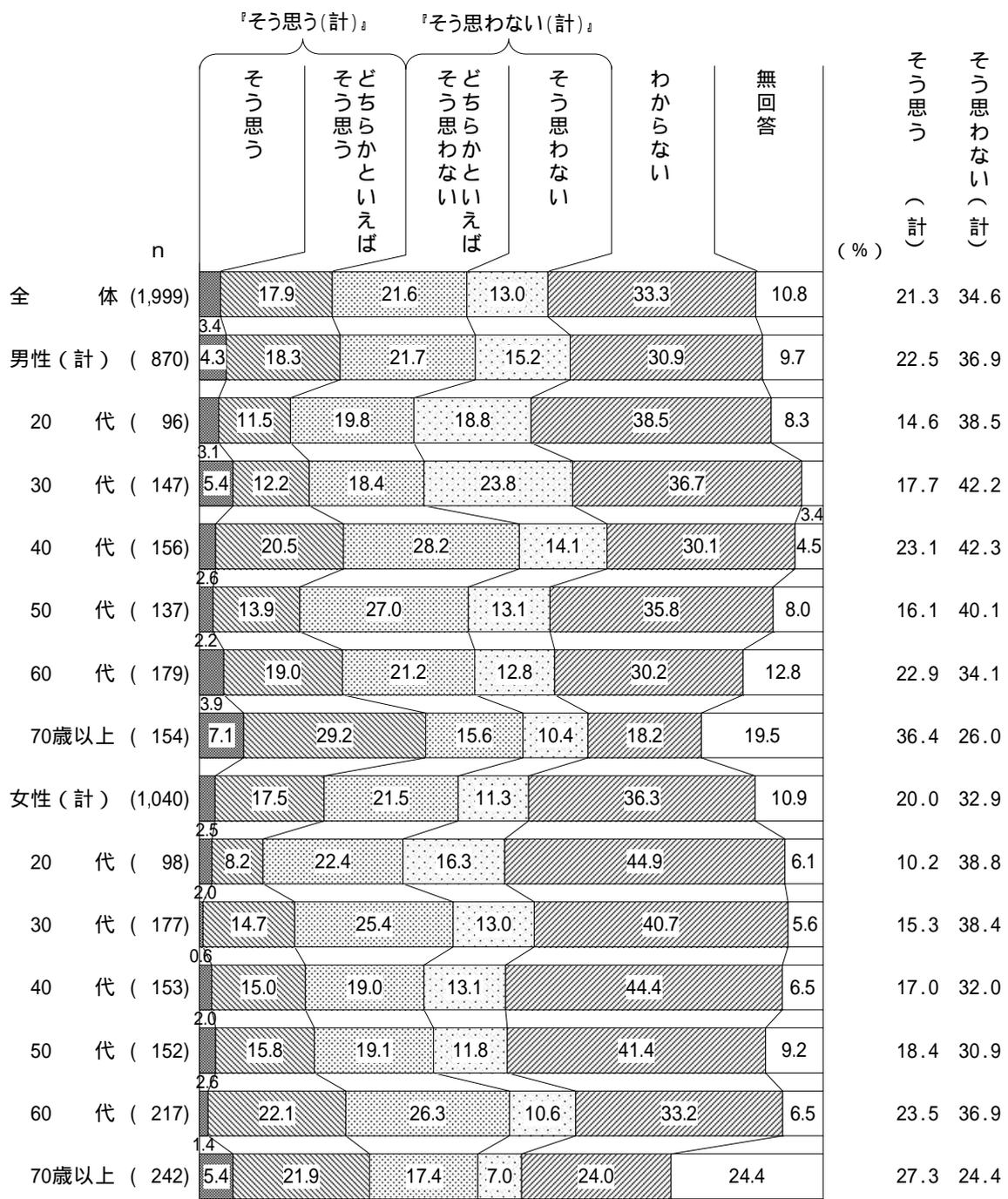


性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(36.9%)が女性(32.9%)より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男性70歳以上(36.4%)で3割半ばを超え高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性30代(42.2%)、40代(42.3%)、50代(40.1%)で4割台と高くなっている。(図7-3-11)

図7-3-11 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(4)

(4) 区政に区民の意見が反映されている

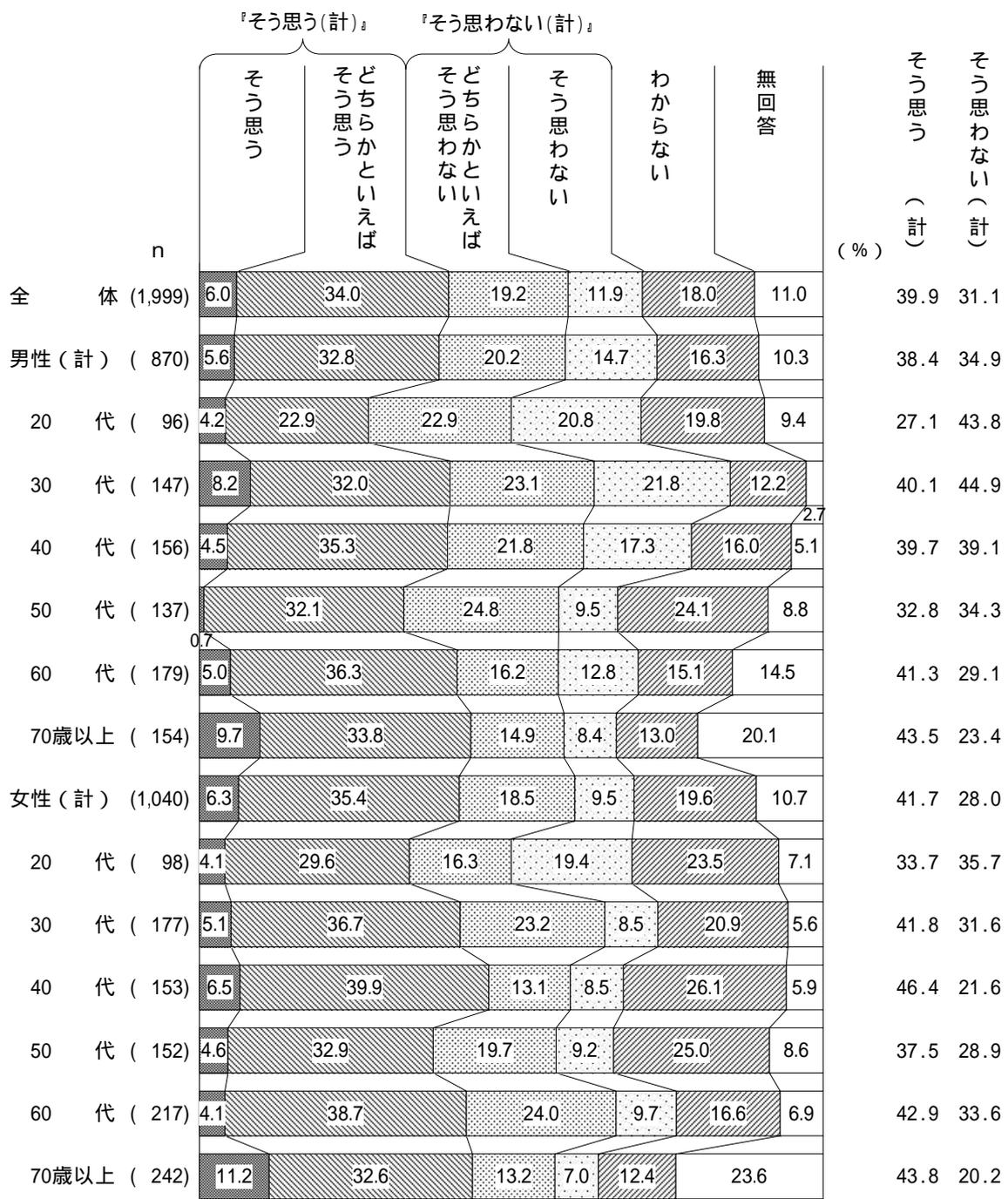


性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(34.9%)が女性(28.0%)より6.9ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は女性40代(46.4%)で最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性30代(44.9%)、20代(43.8%)で4割を超え高くなっている。(図7-3-12)

図7-3-12 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(5)

(5) 区の情報容易に知ることができる

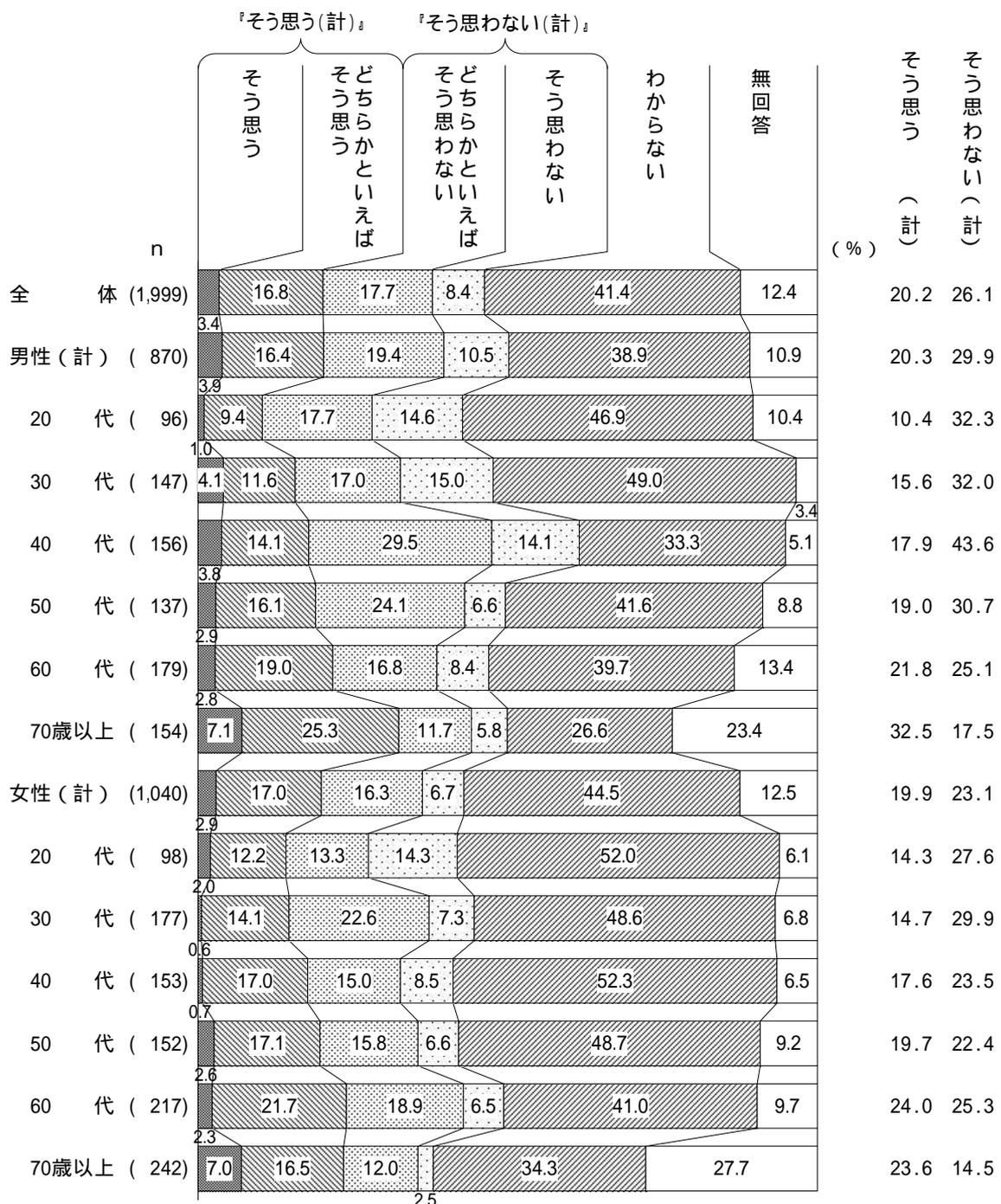


性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(29.9%)が女性(23.1%)より6.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男女ともおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に男性70歳以上(32.5%)で3割を超え高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性40代(43.6%)で4割を超え最も高くなっている。(図7-3-13)

図7-3-13 区の取り組みについての評価・印象 - 性別、性・年代別(6)

(6) 区民・団体等と区役所が協力・連携(協働)して事業を進めている



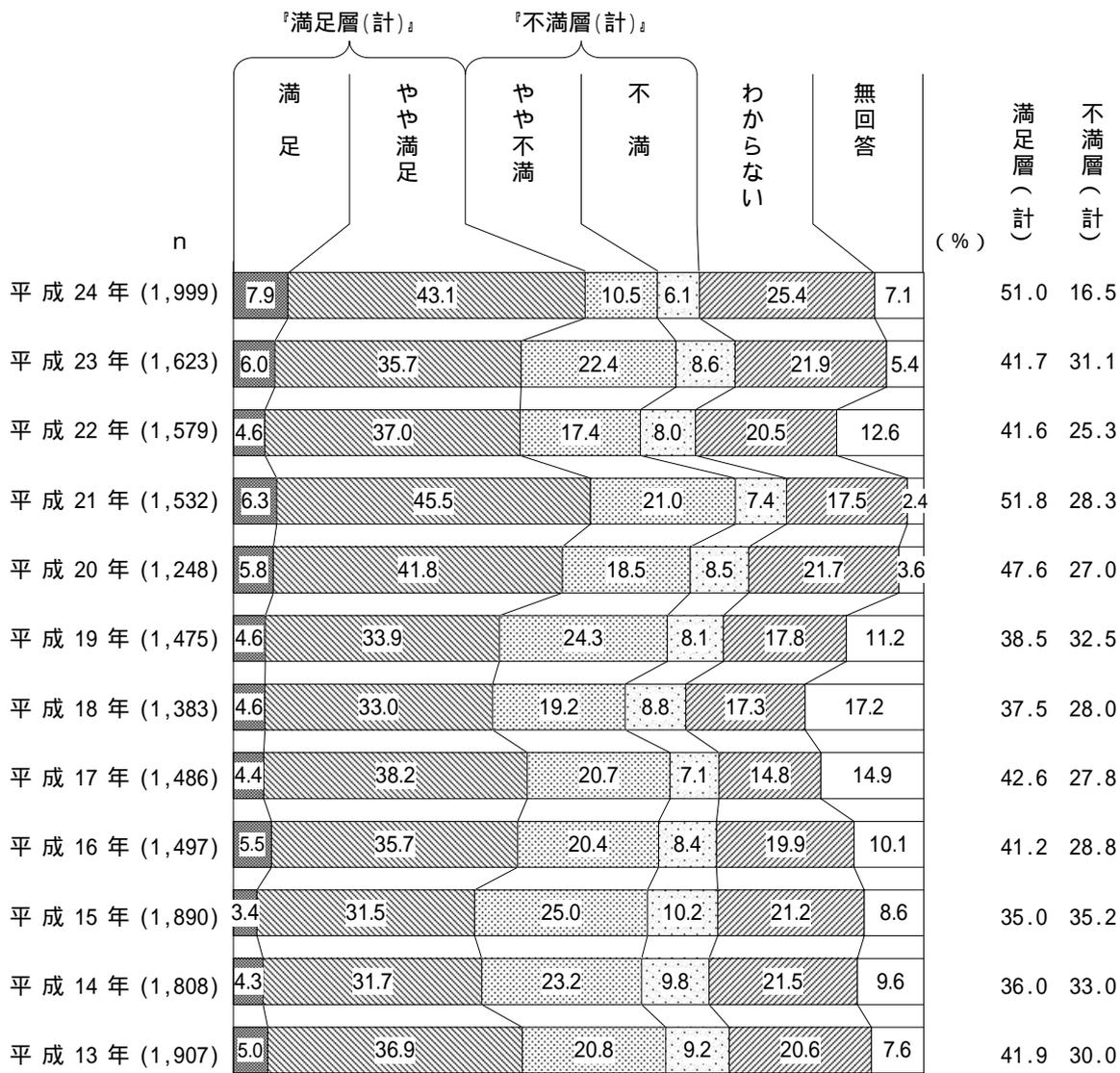
(3) 区政に対する満足度

『満足層』が5割を超え、『不満層』が1割半ば

問33 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。(は1つだけ)

図7-4-1 区政に対する満足度 - 過年度比較

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)



現在の足立区政に満足しているか聞いたところ、「満足」(7.9%)と「やや満足」(43.1%)を合わせた『満足層(計)』(51.0%)が5割を超えている。一方、「不満」(6.1%)と「やや不満」(10.5%)を合わせた『不満層(計)』(16.5%)が1割半ばとなっている。

過去の調査と比較すると、『満足層(計)』が平成23年より9.3ポイント増加している。また、平成15年調査以外では『満足層(計)』が『不満層(計)』を上回っている。

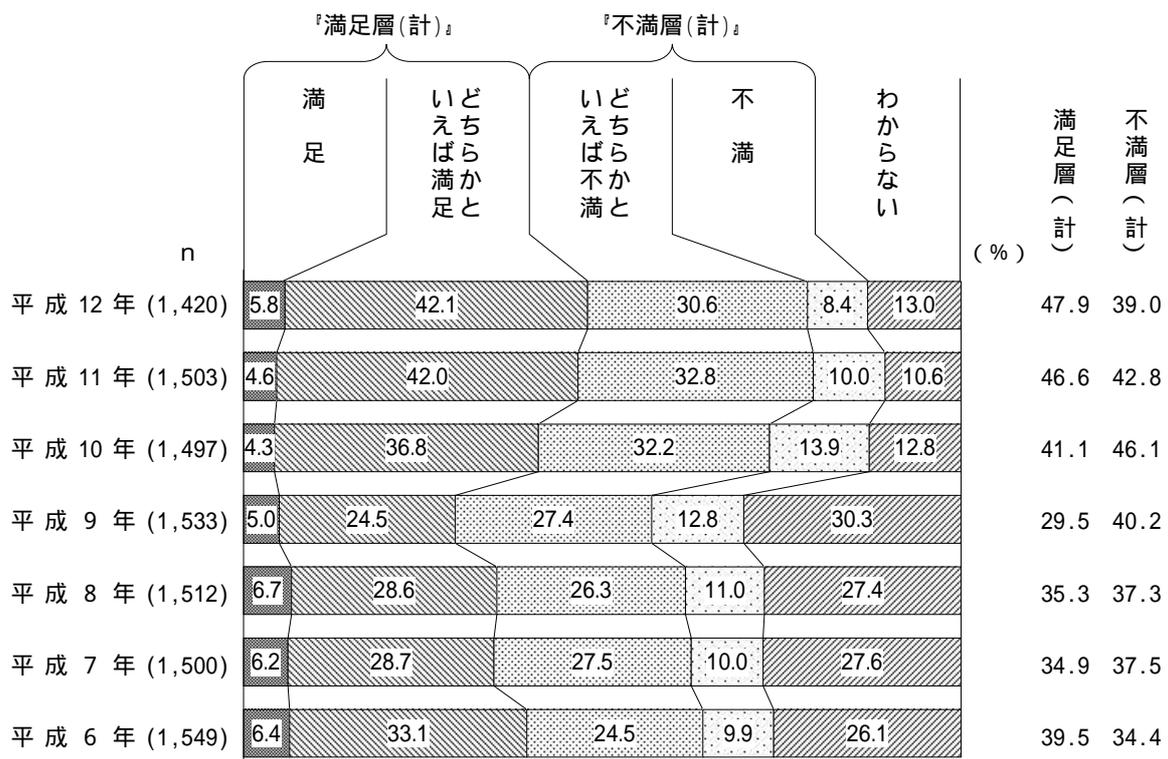
(図7-4-1)

<参考> 区政に対する満足度の推移

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。この中から1つお答えください。
(は1つ)

図7-4-2 区政に対する満足度 - 経年変化

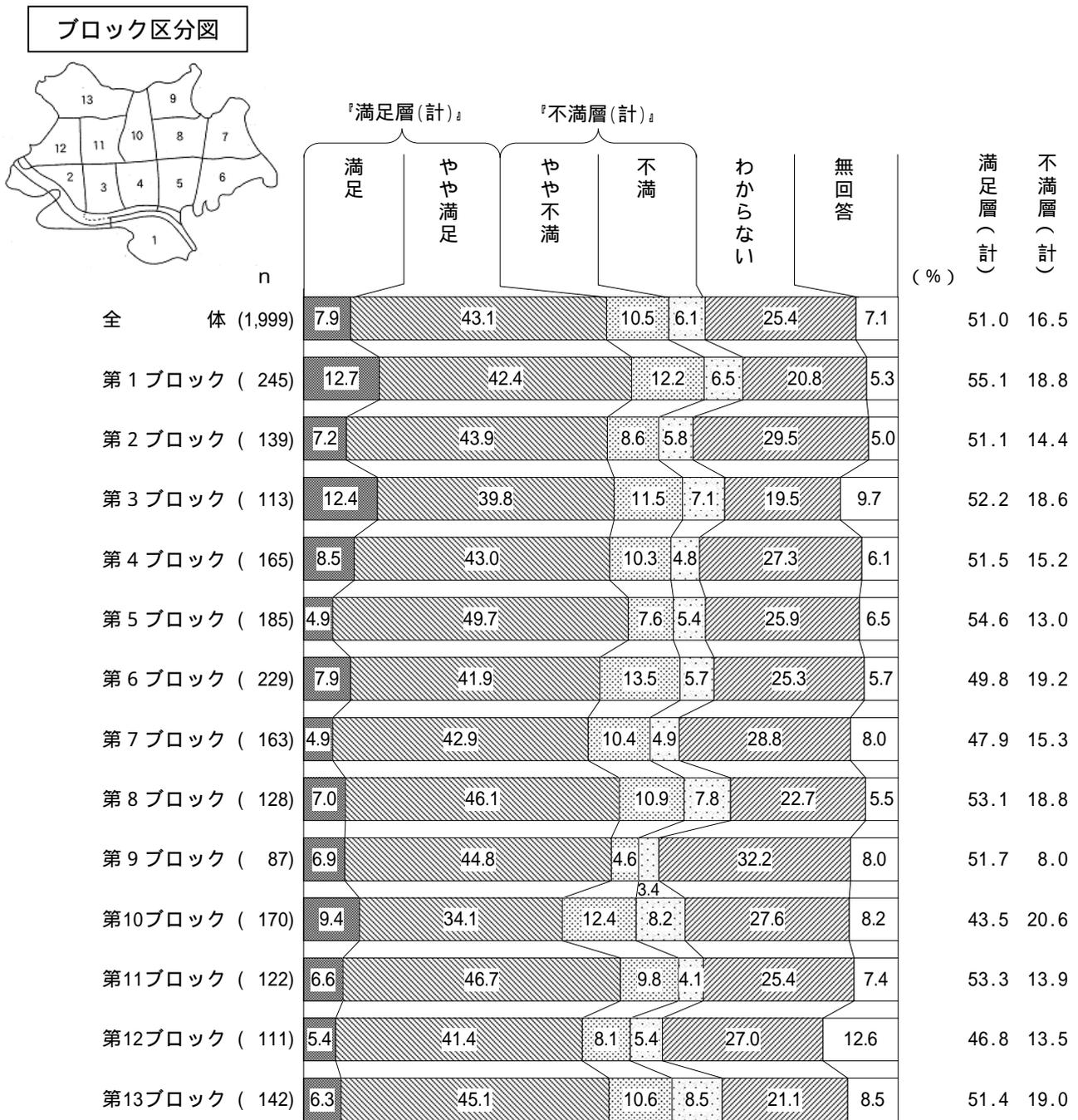
(平成12年まで 訪問面接法)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、平成13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域ブロック別でみると、『満足層(計)』は第1ブロック(55.1%)と第5ブロック(54.6%)で5割半ばと高くなっている。一方、『不満層(計)』は第10ブロック(20.6%)と第6ブロック(19.2%)と第13ブロック(19.0%)で2割前後と高くなっている。(図7-4-3)

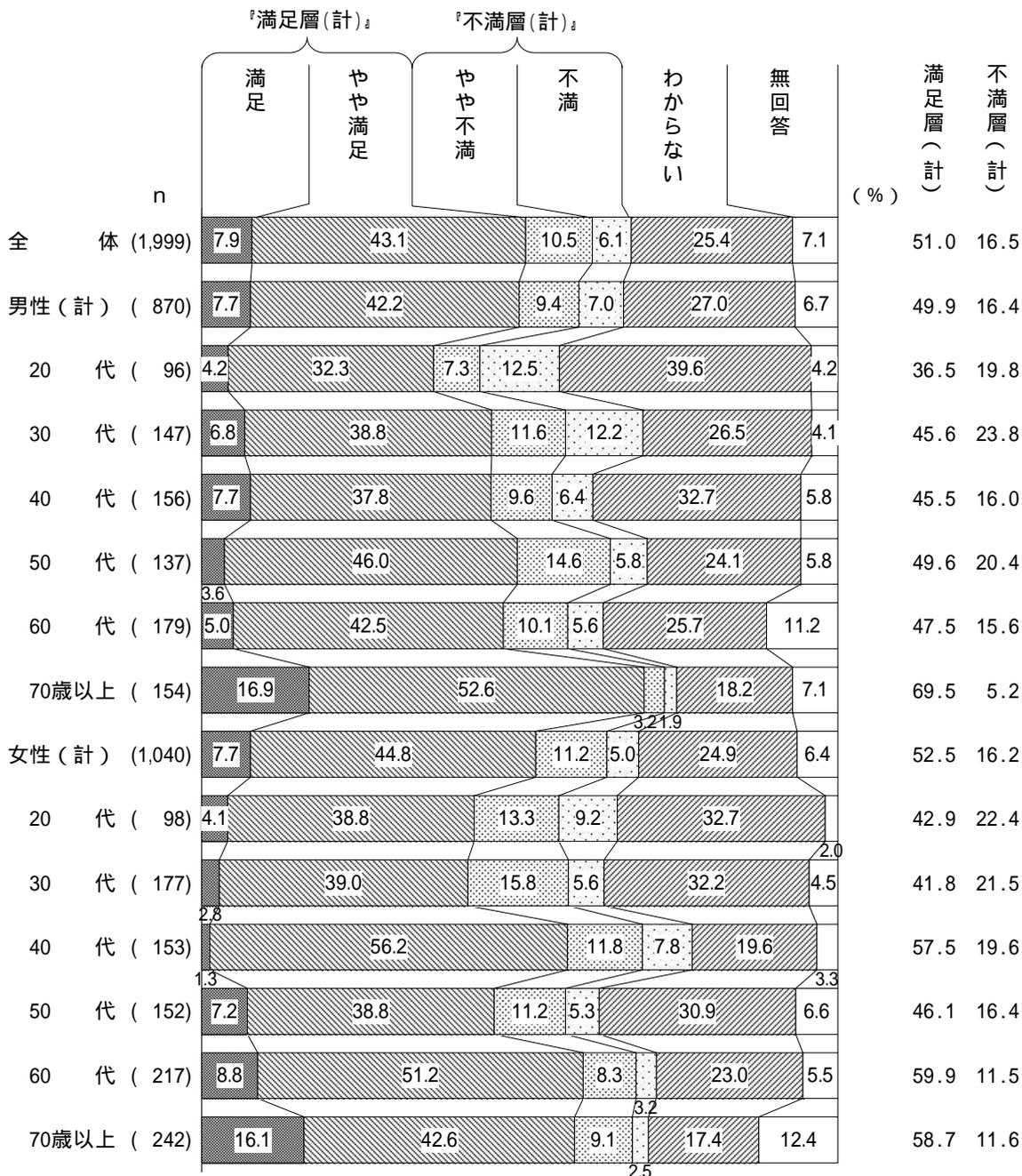
図7-4-3 区政に対する満足度 - 地域ブロック別



性別で見ると、男女とも『満足層(計)』は約5割とほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別で見ると、『満足層(計)』は男性70歳以上(69.5%)でほぼ7割と最も高くなっている。一方、『不満層(計)』は男性30代(23.8%)と50代(20.4%)、女性20代(22.4%)と30代(21.5%)で2割を超え高くなっている。(図7-4-4)

図7-4-4 区政に対する満足度 - 性別、性・年代別



(3 - 1) 不満だと思う理由

(問 33 で「やや不満」又は「不満」とお答えの方に)

問 33 - 1 不満だと思う理由は何ですか。(自由にお書きください)

【372 件 (297 人) のうち、主な理由】

生活保護・低所得者対策 48 件

- ・ 生活保護や低所得者が多い
- ・ 生活保護の不正受給
- ・ 生活保護者や低所得者が優遇されている

治安・防犯対策 43 件

- ・ 犯罪が多く、治安が悪い
- ・ 深夜に公園やコンビニでたむろする中高生が多い
- ・ 防犯に力を入れてほしい

交通・道路対策 29 件

- ・ 交通が不便
- ・ 道路、歩道が狭い
- ・ バスの本数不足

ごみのポイ捨て、マナー、美化に関すること 25 件

- ・ 街がごみで汚い
- ・ 自転車のマナーが悪い
- ・ ごみのポイ捨て、歩きたばこ、犬のふんが多い

教育に関すること 20 件

- ・ 学力が低い
- ・ 教育ができていない

区政全般に関すること

- ・ 区政が何をやっているか見えない、わからない 17 件
- ・ 区民の意見が反映されていない 5 件
- ・ 窓口を土曜・日曜にもやってほしい 4 件

その他

- ・ 税金や保険料が高い 26 件
- ・ 区の職員に関すること (職員数が多い、対応が悪い、給料が高い) 17 件
- ・ 子育て・保育に関すること (待機児童、手当て) 16 件
- ・ 大きな病院の誘致、医療体制の不足 9 件

(4) 区に対する気持ち

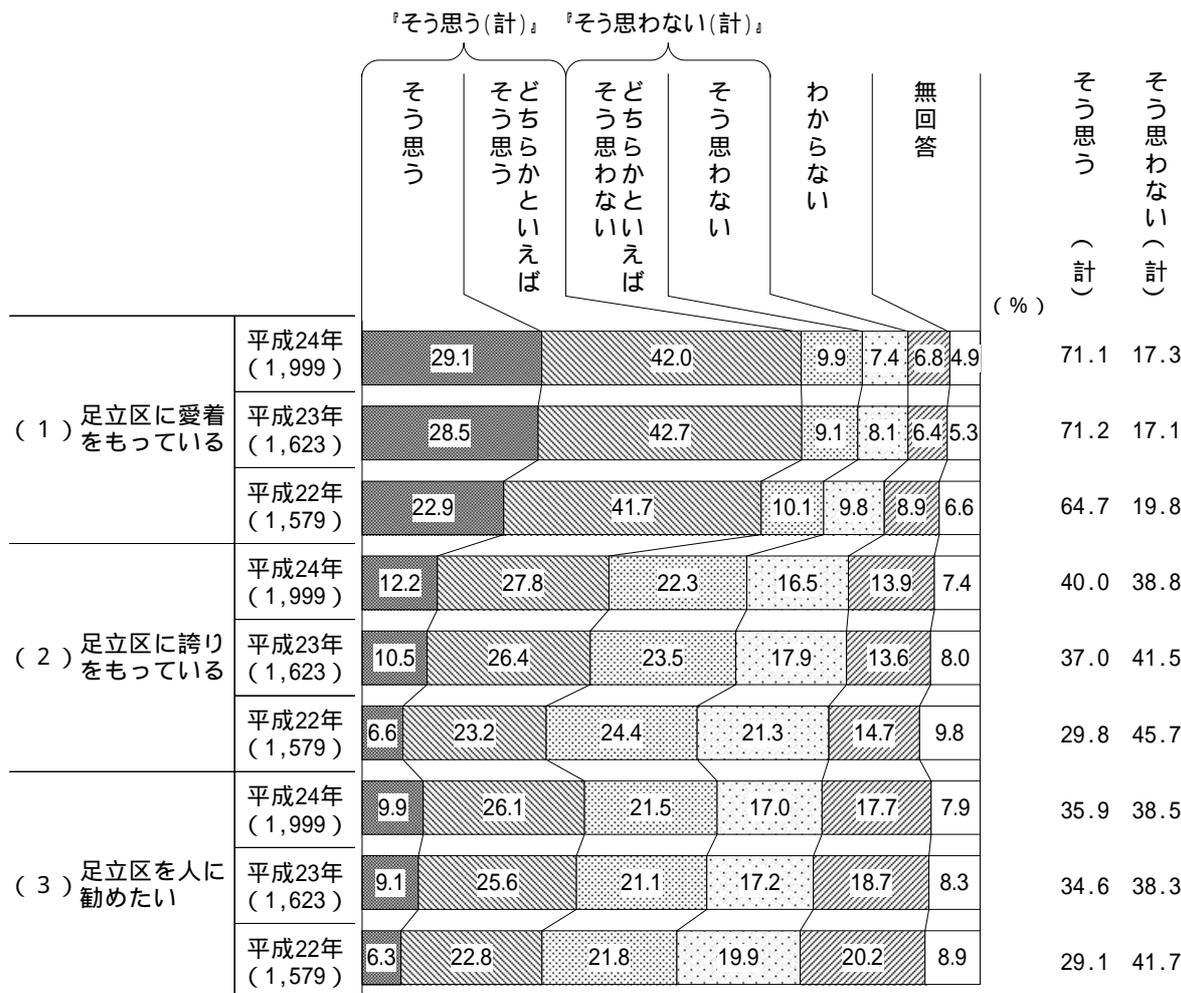
【足立区に愛着をもっている】と思う人が7割を超える

【足立区に誇りをもっている】と思う人が4割

問34 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にどの程度あてはまりますか。

(は各項目とも1つだけ)

図7-5-1 区に対する気持ち - 過年度比較



足立区に対する気持ちを聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は、【足立区に愛着をもっている】(71.1%)が7割を超え、【足立区に誇りをもっている】(40.0%)が4割となっている。

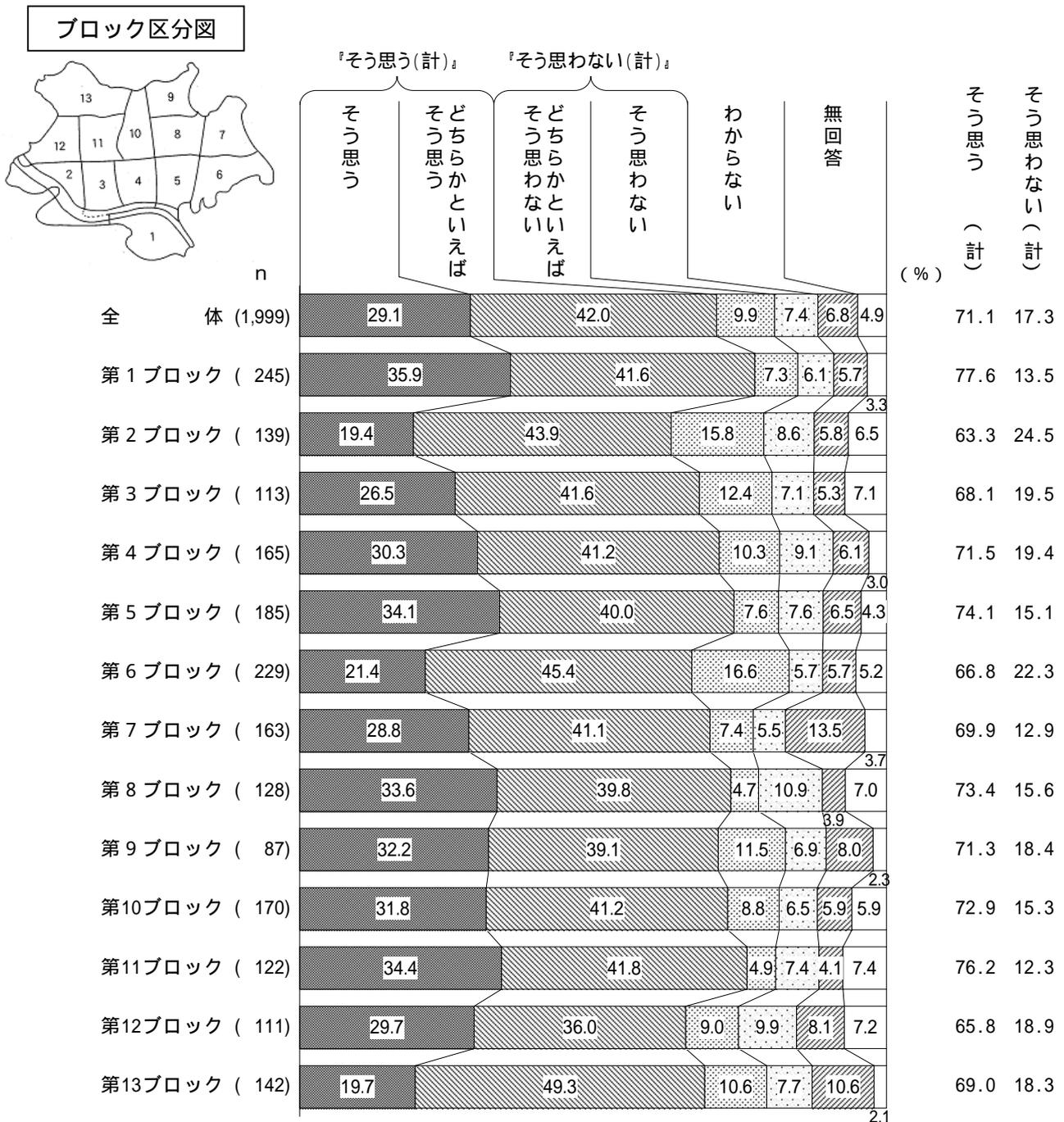
一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない(計)』は、【足立区に誇りをもっている】(38.8%)と【足立区を人に勧めたい】(38.5%)が4割近くとなっている。

過去の調査と比較すると、平成23年より『そう思う(計)』は、【足立区に誇りをもっている】で3.0ポイント増加している。(図7-5-1)

地域ブロック別で見ると、『そう思う(計)』は第1ブロック(77.6%)で8割近くと最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第2ブロック(24.5%)で2割半ばと高くなっている。(図7-5-2)

図7-5-2 区に対する気持ち - 地域ブロック別(1)

(1) 足立区に愛着をもっている

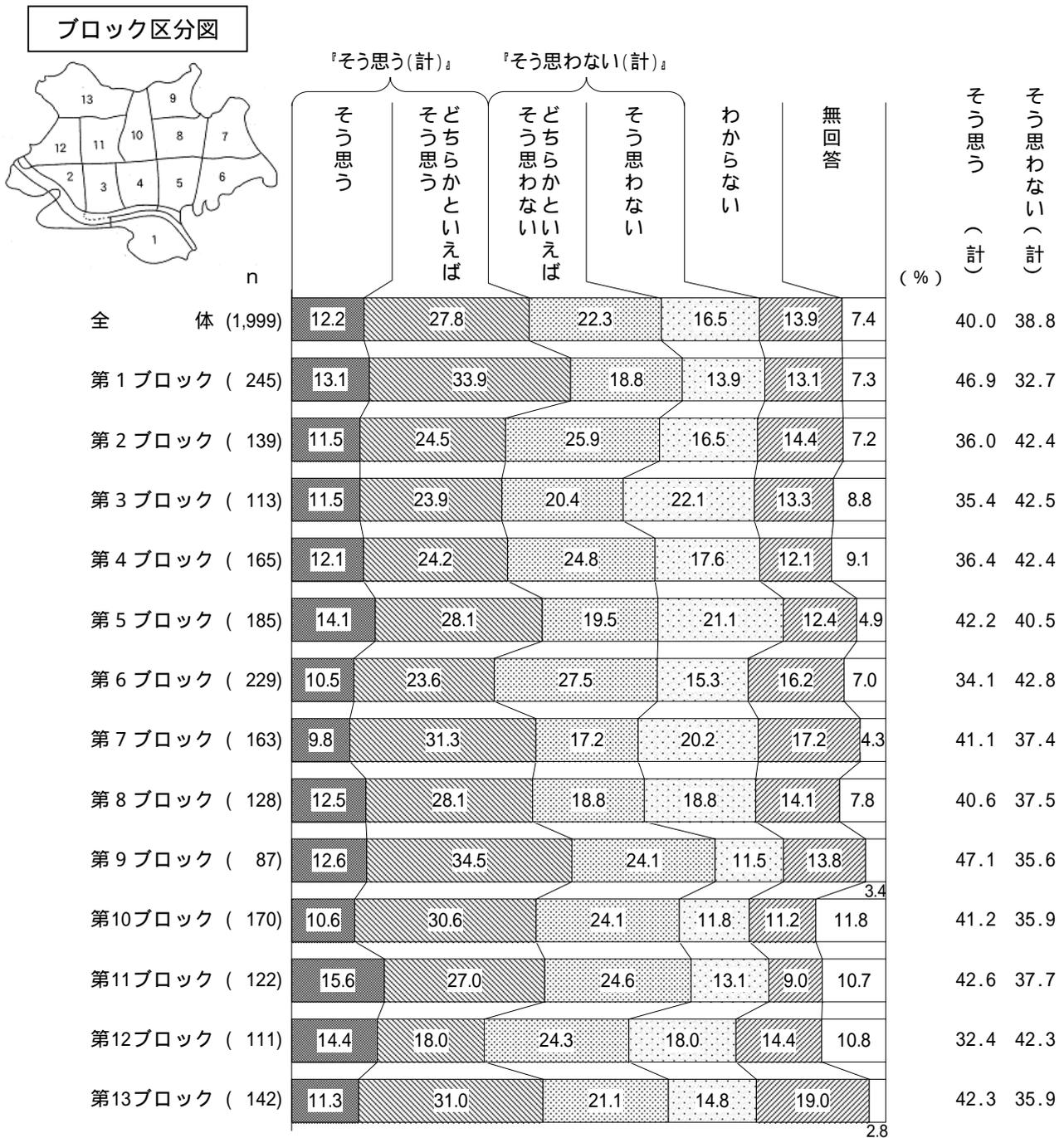


地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第9ブロック(47.1%)と第1ブロック(46.9%)で5割近くと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第6ブロック(42.8%)、第3ブロック(42.5%)、第2ブロックと第4ブロック(ともに42.4%)の順で高くなっている。

(図7-5-3)

図7-5-3 区に対する気持ち - 地域ブロック別(2)

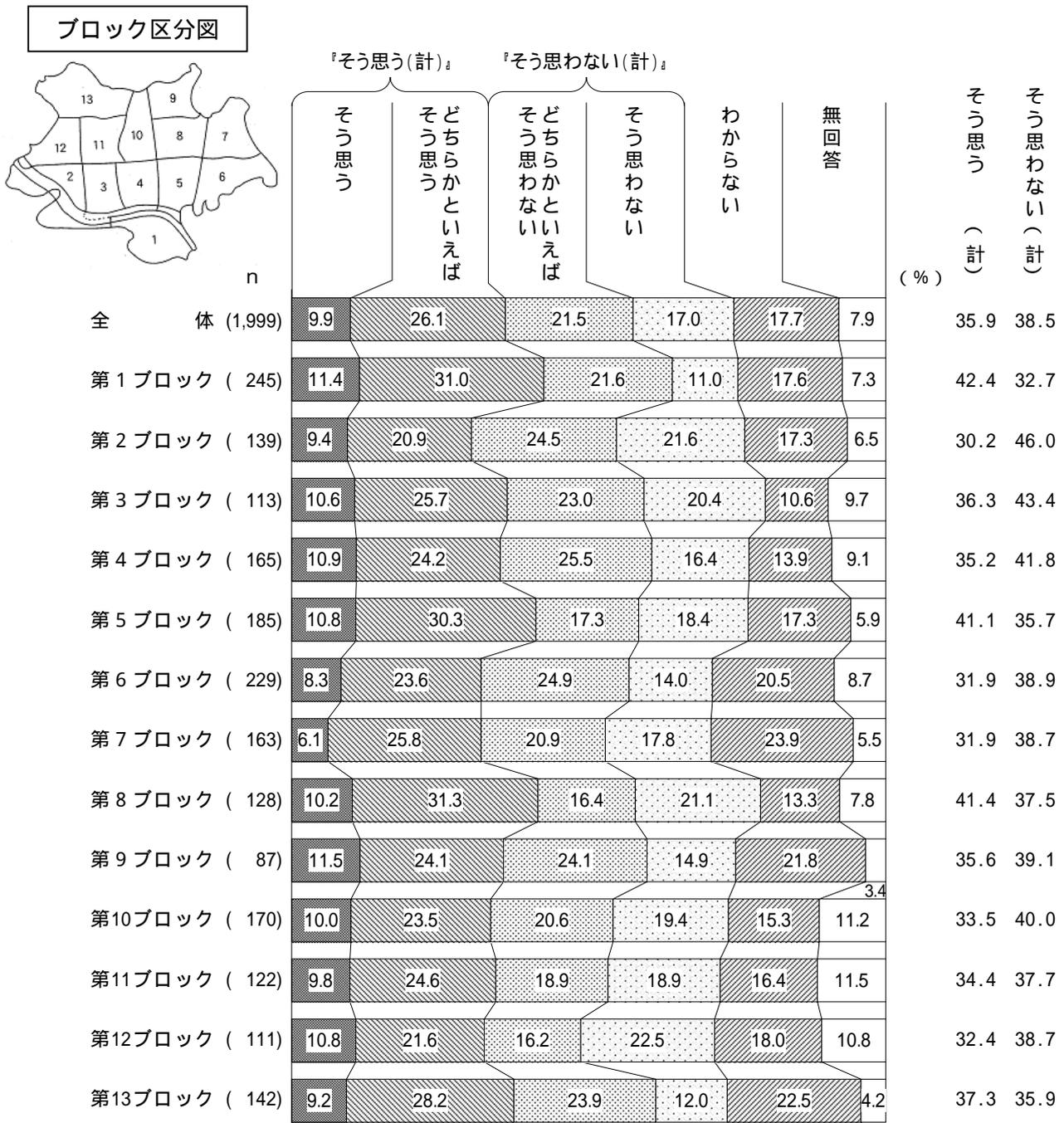
(2) 足立区に誇りをもっている



地域ブロック別でみると、『そう思う(計)』は第1ブロック(42.4%)と第8ブロック(41.4%)と第5ブロック(41.1%)で4割を超え高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は第2ブロック(46.0%)で4割半ばと高くなっている。(図7-5-4)

図7-5-4 区に対する気持ち - 地域ブロック別(3)

(3) 足立区を人に勧めたい

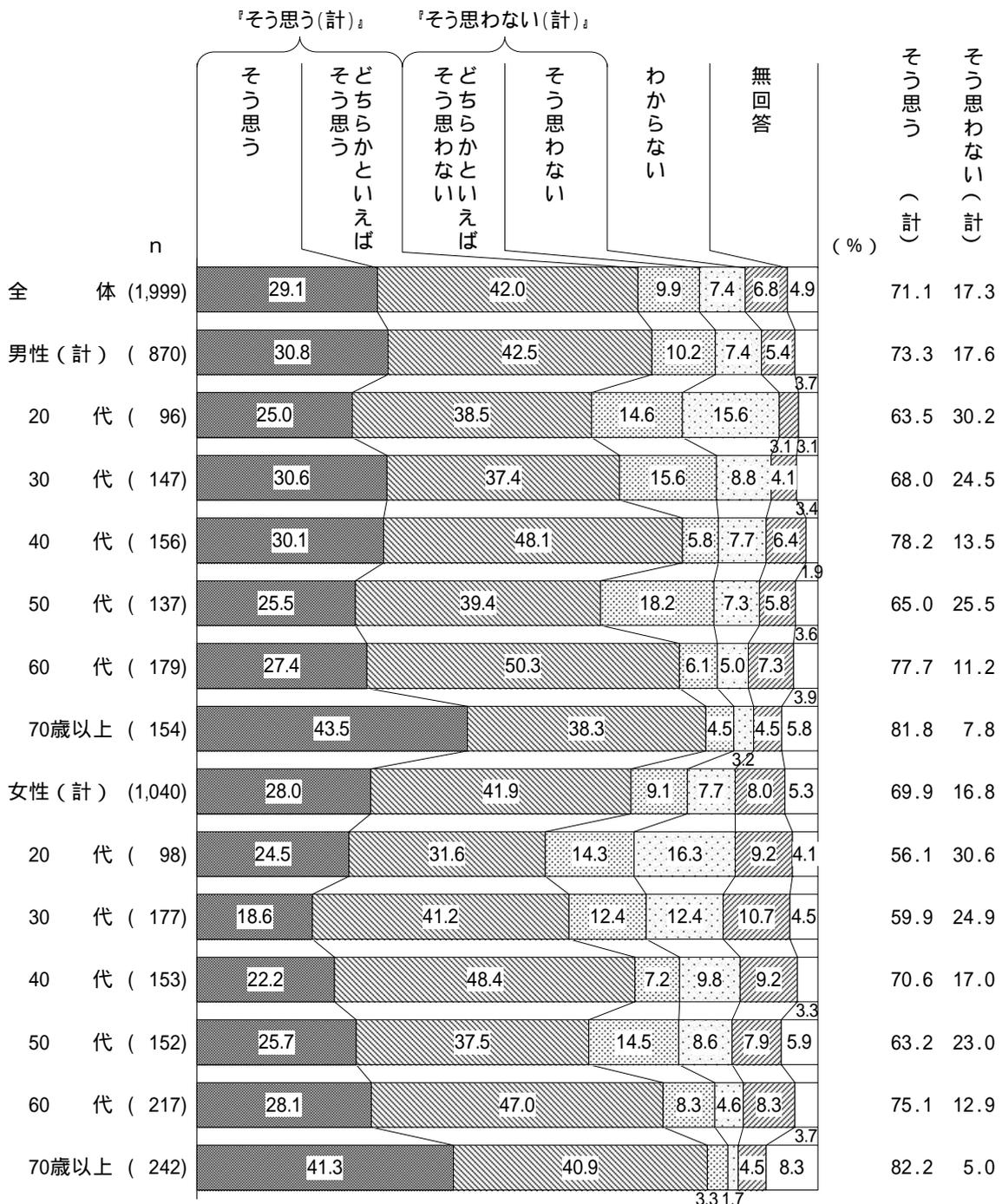


性別で見ると、男性で『そう思う(計)』(73.3%)が女性(69.9%)より3.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は女性70歳以上(82.2%)と男性70歳以上(81.8%)で8割を超え高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男女とも20代(女性30.6%・男性30.2%)で3割と高くなっている。(図7-5-5)

図7-5-5 区に対する気持ち - 性別、性・年代別(1)

(1) 足立区に愛着をもっている

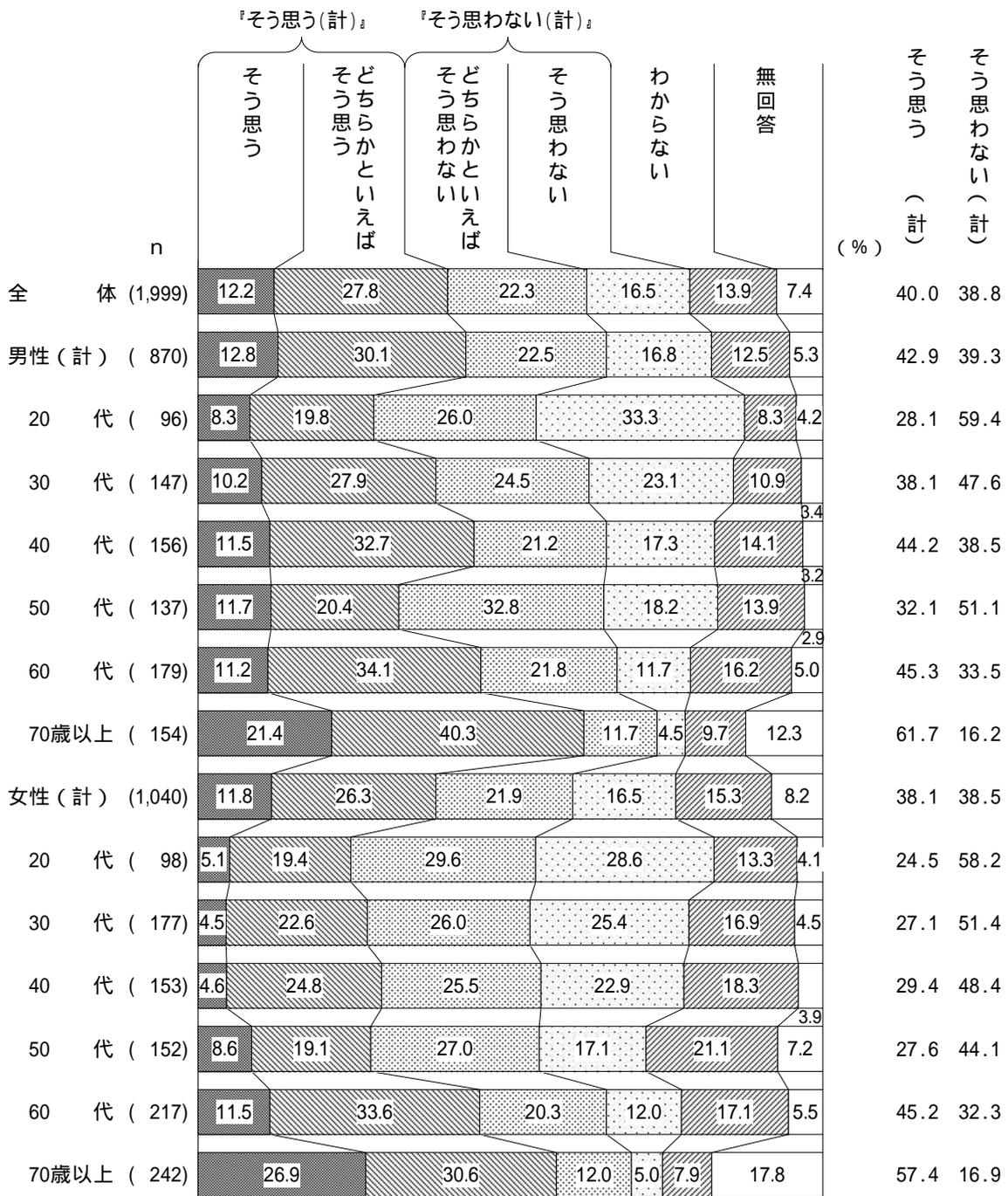


性別で見ると、男性で『そう思う(計)』(42.9%)が女性(38.1%)より4.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男性70歳以上(61.7%)で6割を超え最も高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性20代(59.4%)、女性20代(58.2%)で6割近くと高くなっている。(図7-5-6)

図7-5-6 区に対する気持ち - 性別、性・年代別(2)

(2) 足立区に誇りをもっている

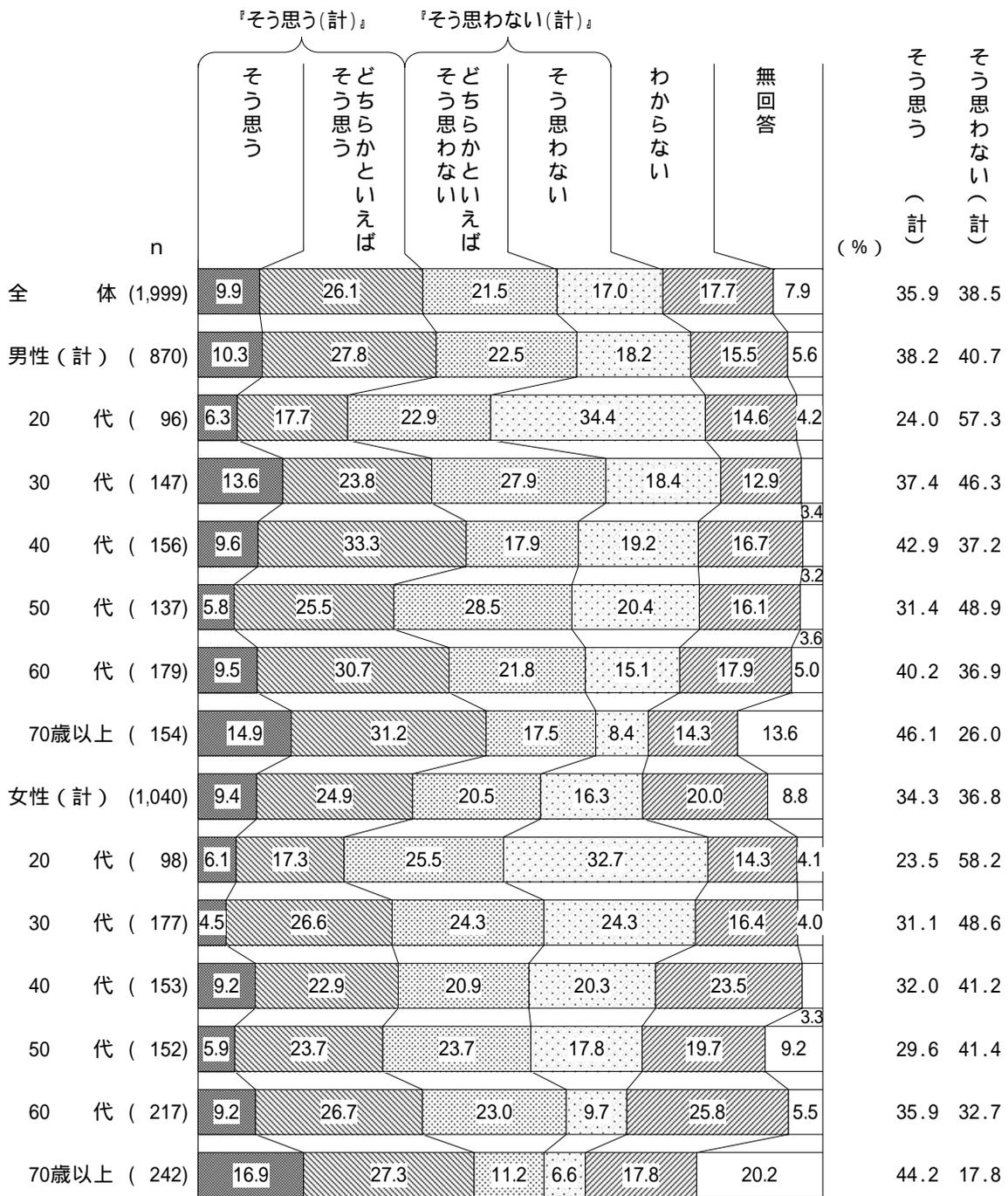


性別で見ると、男性で『そう思う(計)』(38.2%)が女性(34.3%)より3.9ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男女とも70歳以上(男性46.1%・女性44.2%)で4割半ばと高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男女とも20代(女性58.2%・男性57.3%)で6割近くと高くなっている。(図7-5-7)

図7-5-7 区に対する気持ち - 性別、性・年代別(3)

(3) 足立区を人に勧めたい



(5) 区政についてのご意見、ご要望(自由回答)

問35 区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、どのようなことでも結構ですのでお書きください。(自由にお書きください)

区政への意見、要望を自由に記述していただいたところ、664人から延べ831件の回答を得られましたので、一部抜粋してご意見を掲載いたします。

区政全般に関する意見・要望(112件)

- ・ 子どもに対する具体的な教育が私達にもわかりやすく伝わっています。他の区よりもNHK等にニュースとして取り上げられ、誇りに思います。ニュースで学校給食の事を知り、14階の食堂で注文し、食してきました。区民にまで、いただける様になっていておどろきました。区政の「あたたかい心」を感じました。
- ・ 最近の区政は透明性を特に感じ、分かりやすい。これからも明るく生活出来るようお願いします。
- ・ あだち広報を楽しく拝見させて頂いております。世相の文化とはいえ、考えられないような犯罪が多く心を痛めます。素晴らしい大学が出来まして嬉しく存じます。足立区の発展を若い方達と共に頑張りましょう。

交通機関・道路の整備(77件)

- ・ コミュニティバスを増やしてほしい。
- ・ 歩道が狭くて、不愉快な思いをしながら、ベビーカーを押す事が多い。(自転車のすれ違いの時)もっと広くしてほしい。
- ・ 自転車専用の車道や駐輪場の整備をしてほしい。

治安対策(64件)

- ・ 最近、安全パトロールカー等を見かけますが、私の住まいは、夜は人通りが少ないので、昼夜問わず、これまで以上にパトロールしてもらえると心強いです。毎日のように、足立区から不審者情報のAメールがくると、子どもも小さいので本当に不安です。
- ・ 学童の子どもたちが、帰り道に1人きりになっているのが心配。その時間帯に合わせたパトロールなどの強化をして欲しいです。

マナーについて(56件)

- ・ 公園をめぐる道路には犬のフン、雑草、ゴミが多い。
- ・ 歩きタバコやゴミのポイ捨ての取締りを強化してほしい。
- ・ 自転車の交通ルールを守るよう指導してほしい。

医療・福祉（55件）

- ・ 生活保護者が多い区と聞いているが、不正受給の取締りに力を入れてほしい。
- ・ 子供の救急、入院できる医療機関がないと思います。

学校教育（42件）

- ・ 公立小中学校の学区を復活させてほしい。中学校の学力、部活動など、人気校に生徒が集まってしまう為、足立区立での競争力が低下してしまい、足立区のレベルupに繋がらない。学区制で、生徒を分散した方が、相乗効果があると思います。
- ・ 小中学校の学力向上に力を入れてほしい。

都市開発（37件）

- ・ 街を自転車で走ると、シャッターの閉めっぱなしの店舗が目立ちます。更なる地域活性化の強化を願います。
- ・ 永住を考えた時に、不便な点が多々見える。今後の対策として、少子高齢化が進む前提で街づくり（都市計画）を進めて欲しい。
- ・ 駅前なども少しずつ開発されていますが、もう少し大きな商業施設が出来ると区外からも人が来て、足立区も盛りあがると思います。

高齢者支援（30件）

- ・ 低金額で利用出来る高齢者住宅を作ってほしい。
- ・ 一人暮らしの高齢者に介護が必要になった時に安心して支援してくれる施設や相談窓口の充実。

防災対策（29件）

- ・ 足立区は川に囲まれた地域であり、地震が起きた時に液状化等が発生し、道路が被災する可能性があるが、何か対策を考えるべき。
- ・ 地震や津波などの災害に関する情報をもっと知りたい。今後、さらなる防災対策の強化をしてほしい。

足立区のイメージ（28件）

- ・ 自分は、足立区に住んでいるので、愛着を持っているが、犯罪が多いとか学力が低いというイメージが有るので、悪いイメージがなくなるとよいと思う。
- ・ 足立区のイメージが大変悪い。足立区と聞くと...怖いイメージ。それを改善出来るような施策があれば是非やってください。各論も大事ですが総論も大事なような気がします。

生涯学習（24件）

- ・ 子どもを連れて参加できるような教室やイベントを増やしてほしい。
- ・ 図書館やスポーツ施設の充実。文化面にも力を入れてほしい。

子育て支援（23件）

- ・ 安心して子どもを産み育てられる、働きたい母親の支援をしてほしい。
- ・ 足立区に引越して来た当時は、子供が居なかったのでそれほど感じなかったが、子供が産まれてみて歩道や保育園の少なさなど、非常に子供を育てにくいと感じた。子育てしやすい区を目指してほしい。

職員の接客態度（21件）

- ・ 区役所に行くと感じるのが、人の多さ（職員が多すぎる）、髪の毛の色、おしゃべり、やる気の無さ、態度などマナーはいいとは思えない。
- ・ 区役所の職員の方の対応が丁寧でした。

資源環境対策（20件）

- ・ 衣類を生ごみと一緒に処分するのは心が痛むので資源とならないかと思ってます。
- ・ 資源ゴミが、回収日に組織的に持ち去られている。区と警察が連携して対策を強化してほしい。

自然・緑化対策（15件）

- ・ 町の緑化運動は、地球温暖化問題の対策として大変重要です。しかし、区の予算不足から、樹木の手入れは、なおざり。保存木にいたっては、費用の半分を持ち主が出している現状。自分の住まいに樹木のない人は多く、環境対策は待ったなし。区民から、巾広く協力をいただく検討を願いたい。

職員数について（14件）

- ・ 区の職員の削減。必要最小限の人数で業務に取り組むべき。

花火大会について（12件）

- ・ イルミネーションや花火などとてもきれいですが、財政面やエネルギーについて考えると、疑問と不安があります。
- ・ 昨年の花火大会が10月になったが、やはり花火は、夏・ゆかた・うちわが似合う。夏の開催にしてほしい。

障がい者支援（9件）

- ・ 障がい者の一人暮らしの人々にもっと眼を向けてほしい。自立支援にこちらから出向かなければならぬ、連絡しなければならぬ事が多々有る。ヘルパーはいるものの、人数が少ない。もっと福祉に力を入れほしい。
- ・ 障がい者にやさしい町づくりをお願いします。道路の凸凹をなくす。川のテラスに車椅子でおりられるようにする。レストランはバリアフリーにする。

地域活動支援（7件）

- ・ 昔みたいに近所の人に普通にあいさつしたり、会話したり出来る環境になったらいいと思う。

雇用促進（6件）

- ・ 若者の就業支援を強力的に進めてほしい。パート、アルバイトではなく、正規社員になれるようにしてほしい。
- ・ 非正規社員を正社員にするルートを明確に整備していただきたい。

保健衛生対策（4件）

- ・ 無料健康診査の拡大。
- ・ 蚊の駆除薬の散布をしてもらいたい。

その他（70件）

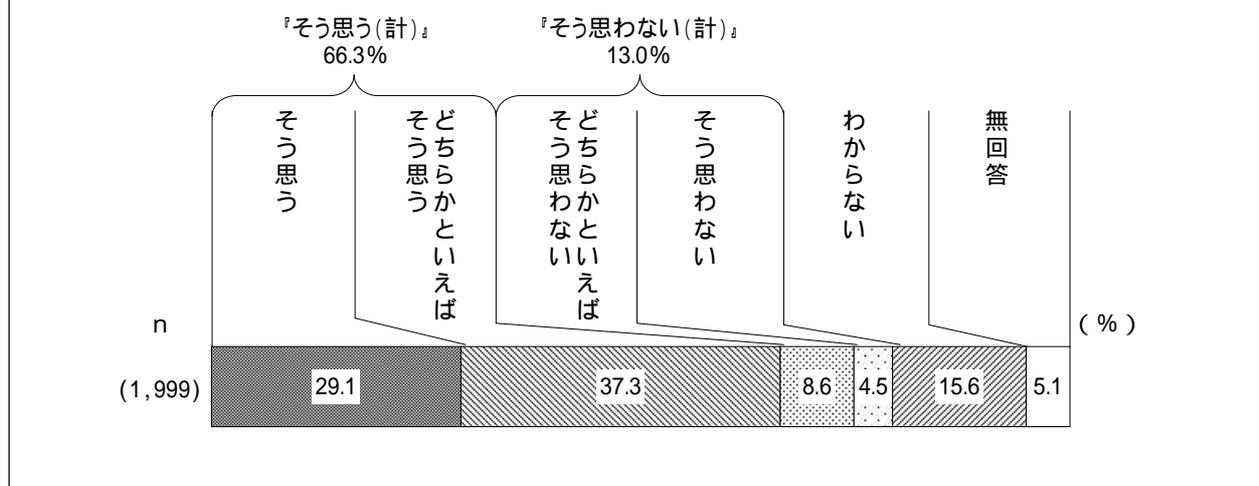
- ・ 転居してきたばかりで、区政や以前の運営との比較はできませんが、近々出産予定でもありますので、今後は区の活動にも興味を持ちたいと考えています。
- ・ 足立で生まれ、育ち、結婚して足立で子どもを育てました。23区内でもいつもレベルが低いと思われている足立区ですが、私にとっては大切なふるさとです。いつか「私は足立区よ」と誇りを持って言える日が来ることを願っています。

(6) アンケートの有効性
『そう思う』人が7割近く

問36 多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後に、今回の調査の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか。

(は1つだけ)

図7-6-1 アンケートの有効性



今回の調査の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容が聞いたところ、「そう思う」(29.1%)がほぼ3割、これに「どちらかといえばそう思う」(37.3%)を合わせた『そう思う(計)』(66.3%)が7割近くとなっている。一方、「そう思わない」(4.5%)と「どちらかといえばそう思わない」(8.6%)を合わせた『そう思わない(計)』(13.0%)が1割を超えている。(図7-6-1)

性別で見ると、男性で『そう思わない(計)』(15.3%)が女性(11.3%)より4.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『そう思う(計)』は男女とも70歳以上(男性74.7%・女性72.7%)で7割を超え高くなっている。一方、『そう思わない(計)』は男性20代(26.0%)で2割半ばと最も高くなっている。(図7-6-2)

図7-6-2 アンケートの有効性 - 性別、性・年代別

